

各務原市役所庁舎に関する市民アンケート 報告書

平成 26 年 8 月

1. 調査の概要

①調査の背景と目的

本市本庁舎は、昭和48年に、総合福祉会館・産業文化センターがある北庁舎は、それぞれ昭和60年、平成5年に建設された庁舎である。

市庁舎は、平常時は市民生活を支え、万一の災害発生時は応急対策や災害復興の拠点となる重要な施設であることから、市では、現在の市庁舎の老朽化などのさまざまな課題に対して検討を進めていきたいと考え、市民の方々の市庁舎の利用実態及び市民の望む市庁舎の姿を検討するための基礎資料として、本アンケート調査を行った。

②調査対象・調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上（平成26年3月1日現在）の市民2000人を対象に郵送によりアンケートを実施。

③調査期間

④アンケート標本数

971票

⑤調査項目

問1～5 回答者の属性（性別、年齢、職業、居住地域、居住年数）

問6 市役所への来訪経験

問7 市役所への来訪頻度

問8 市役所への利用交通手段

問9 市役所への来訪目的

問10 市役所の施設・環境面について

問11 本庁舎の災害時に果たす役割について

問12 本庁舎の耐震化を検討するにあたり重要な事項について（5項目）

問13 これからの本庁舎のあり方について（9項目）

問14 市役所庁舎に関することや本庁舎の耐震化についての自由意見

⑥クロス集計

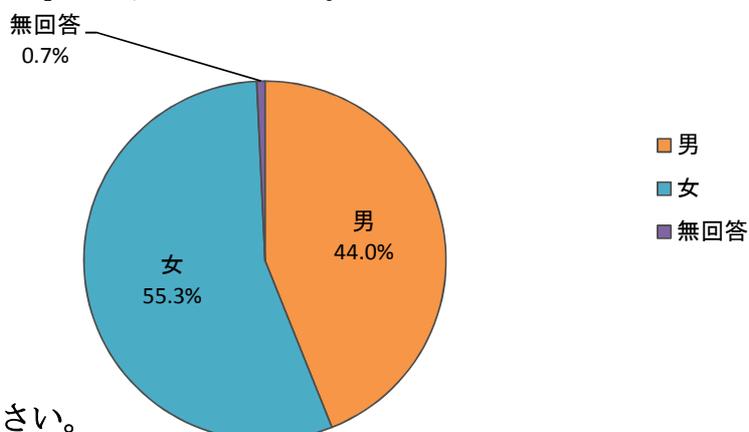
問6～13の各回答と問1～5の回答者の属性をクロス集計し、特徴的な回答率の傾向が表れているものについては、解析を行っている。

2. 集計解析結果

問1. あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は「男性」が44%、「女性が」55.3%となっている。

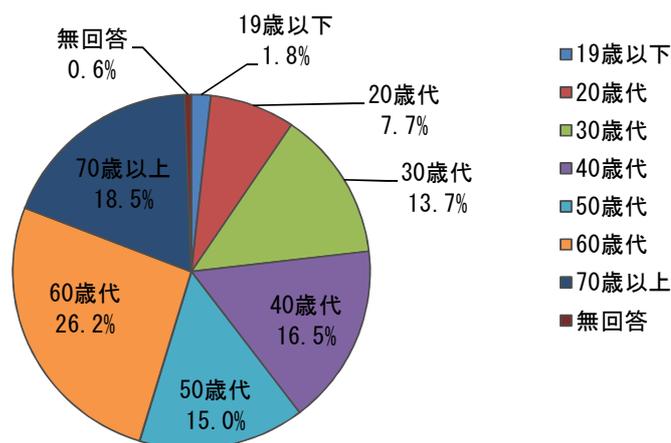
	集計	%
男	427	44.0%
女	537	55.3%
無回答	7	0.7%
総計	971	100.0%



問2. あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢層は「60歳代」が最も多く、30歳代以上の年齢層の方からの回答が多い結果となっている。

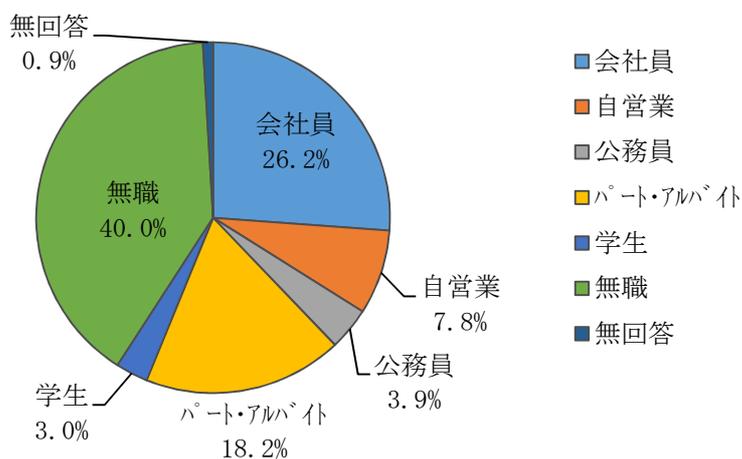
	集計	%
19歳以下	17	1.8%
20歳代	75	7.7%
30歳代	133	13.7%
40歳代	160	16.5%
50歳代	146	15.0%
60歳代	254	26.2%
70歳以上	180	18.5%
無回答	6	0.6%
総計	971	100.0%



問3. あなたの職業をお答えください。

回答者の職業は、「無職」が388件(40%)、「会社員」が254件(26.2%)、「パート・アルバイト」が177件(18.2%)の順に多くなっている。

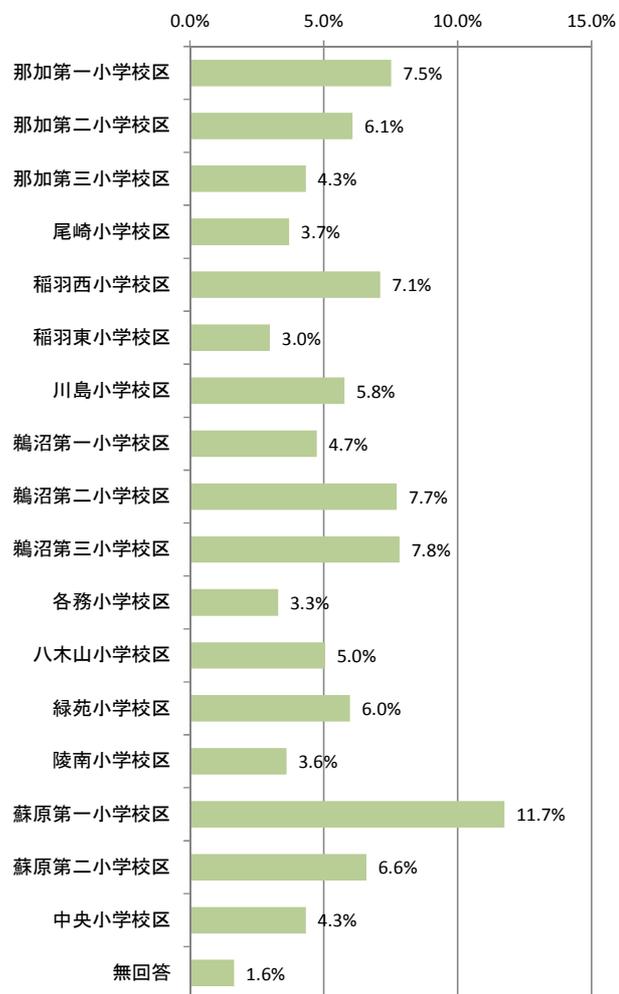
	集計	%
会社員	254	26.2%
自営業	76	7.8%
公務員	38	3.9%
パート・アルバイト	177	18.2%
学生	29	3.0%
無職	388	40.0%
無回答	9	0.9%
総計	971	100.0%



問4. あなたのお住まいの地区（小学校区）をお答えください。

回答者の居住地区は「蘇原第一小学校区」114件（11.7%）、「鵜沼第三小学校区」76件（7.8%）、
「鵜沼第二小学校区」75件（7.7%）順となっているが、ほぼ無作為抽出を行った居住地区配分
どおりの構成となっている。

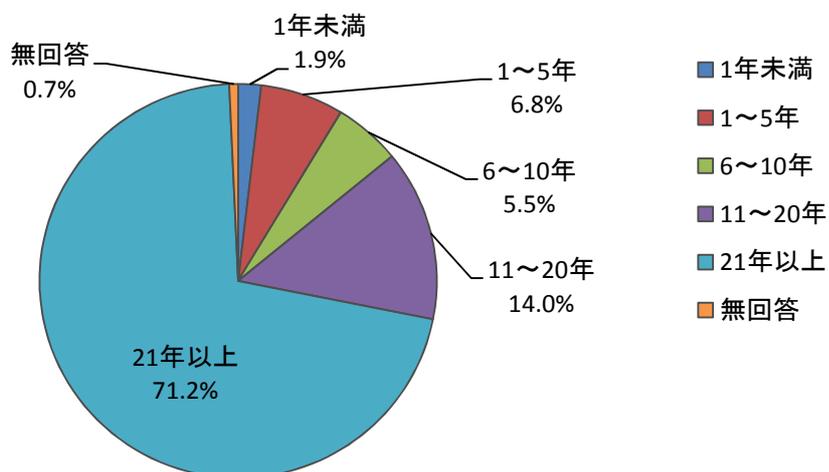
	集計	%
那加第一小学校区	73	7.5%
那加第二小学校区	59	6.1%
那加第三小学校区	42	4.3%
尾崎小学校区	36	3.7%
稲羽西小学校区	69	7.1%
稲羽東小学校区	29	3.0%
川島小学校区	56	5.8%
鵜沼第一小学校区	46	4.7%
鵜沼第二小学校区	75	7.7%
鵜沼第三小学校区	76	7.8%
各務小学校区	32	3.3%
八木山小学校区	49	5.0%
緑苑小学校区	58	6.0%
陵南小学校区	35	3.6%
蘇原第一小学校区	114	11.7%
蘇原第二小学校区	64	6.6%
中央小学校区	42	4.3%
無回答	16	1.6%
総計	971	100.0%



問5. 各務原市に住んで何年ぐらい経ちますか？（旧川島町の年数を含む）

回答者の各務原市に居住している期間は、「21年以上」が691件（71.2%）と最も多く、全体の80%以上が10年以上と長期間、各務原市に居住している。

	集計	%
1年未満	18	1.9%
1～5年	66	6.8%
6～10年	53	5.5%
11～20年	136	14.0%
21年以上	691	71.2%
無回答	7	0.7%
総計	971	100.0%

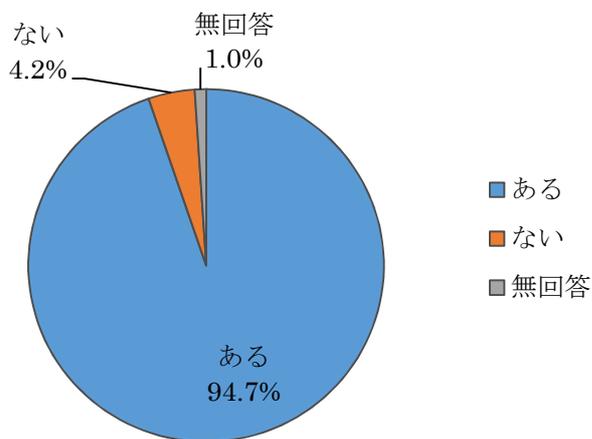


問6. これまで市役所に訪れたことがありますか？

【全体集計結果の解析】

回答者の9割以上があると回答している。

	集計	%
ある	920	94.7%
ない	41	4.2%
無回答	10	1.0%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

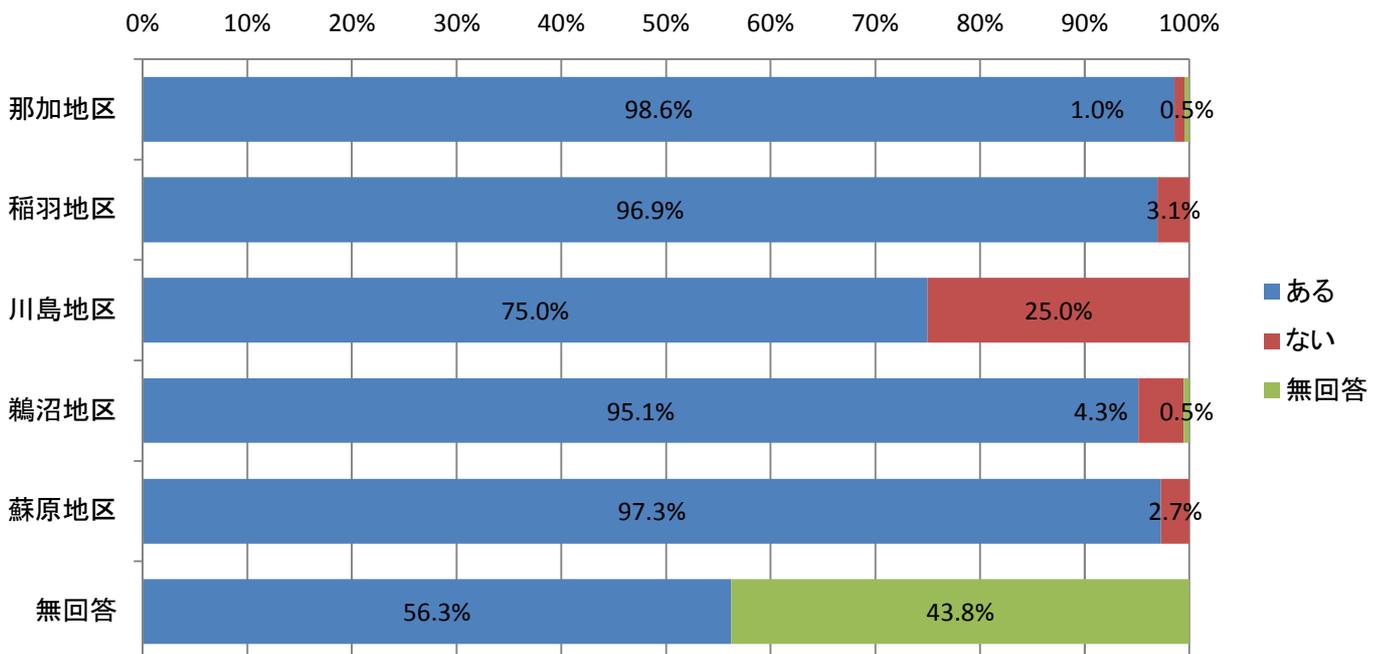
年齢別に市役所の訪問経験を見ると、全ての年齢で7割以上、訪問経験があり、特に30歳代では9割強、40歳代以上ではほぼ全ての方が訪問経験をしている。

年齢別 市役所の利用経験



居住地区別市役所の訪問経験を見ると、「川島地区」では約7割と多く、それ以外の地区ではさらに9割以上の方が市役所を訪問している。

居住地区別 市役所の利用経験

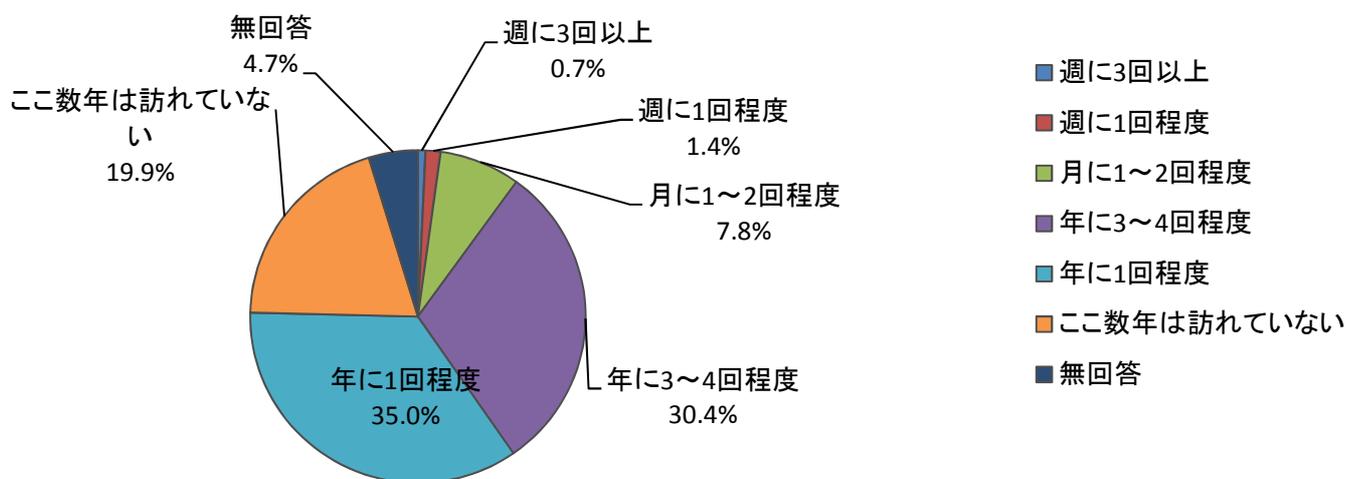


問7. どれくらいの頻度で市役所を訪れていますか？

【全体集計結果の解析】

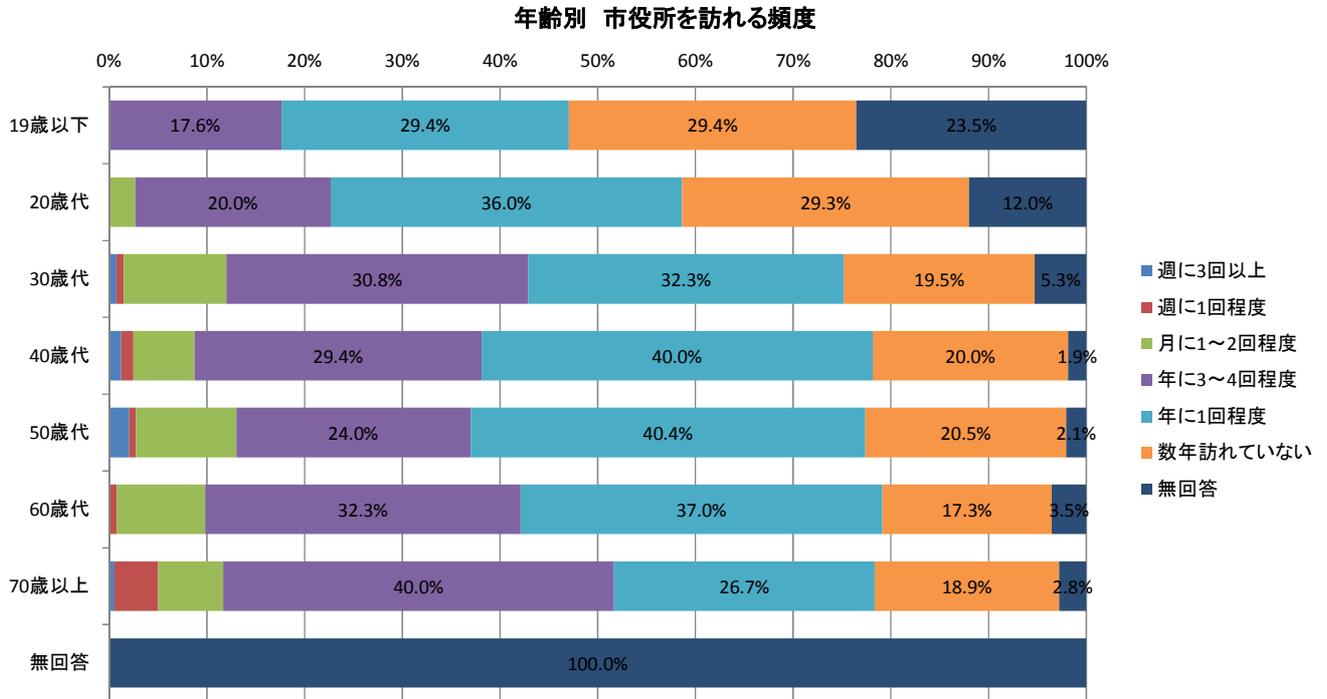
市役所の訪問回数は「年に1回程度」が3割以上で最も多く、次いで「年に3～4回程度」が約3割、「ここ数年は訪れていない」が2割弱となっている。

	集計	%
週に3回以上	7	0.7%
週に1回程度	14	1.4%
月に1～2回程度	76	7.8%
年に3～4回程度	295	30.4%
年に1回程度	340	35.0%
ここ数年は訪れていない	193	19.9%
無回答	46	4.7%
総計	971	100.0%

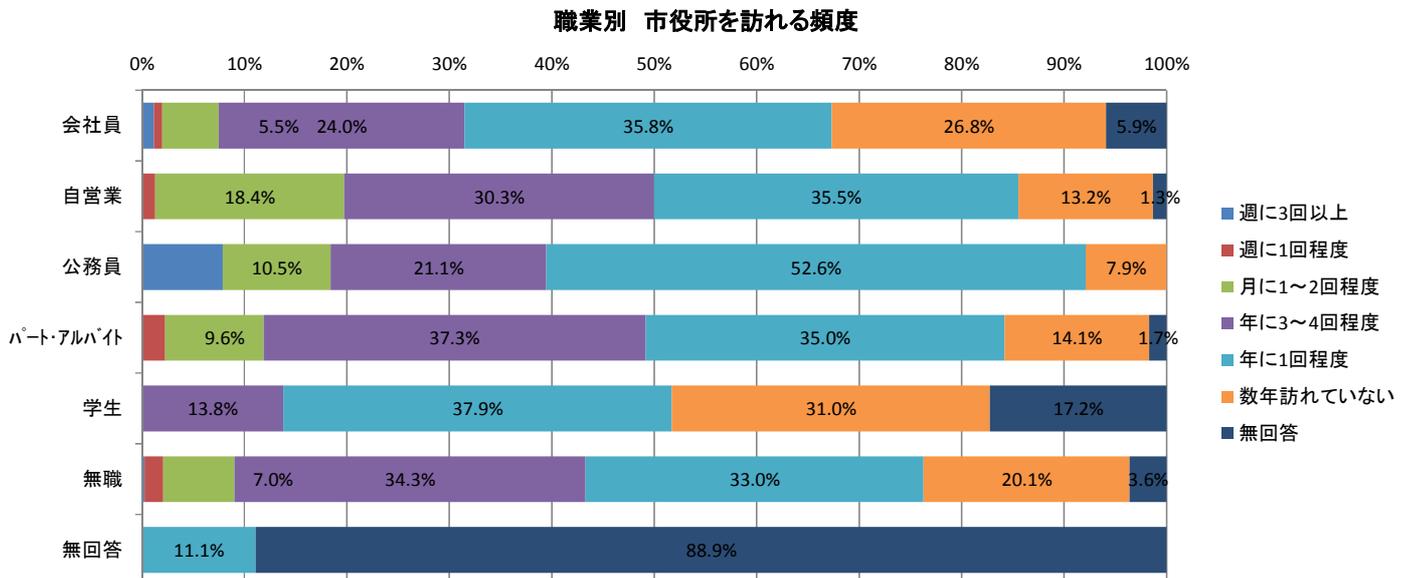


【クロス集計結果の解析】

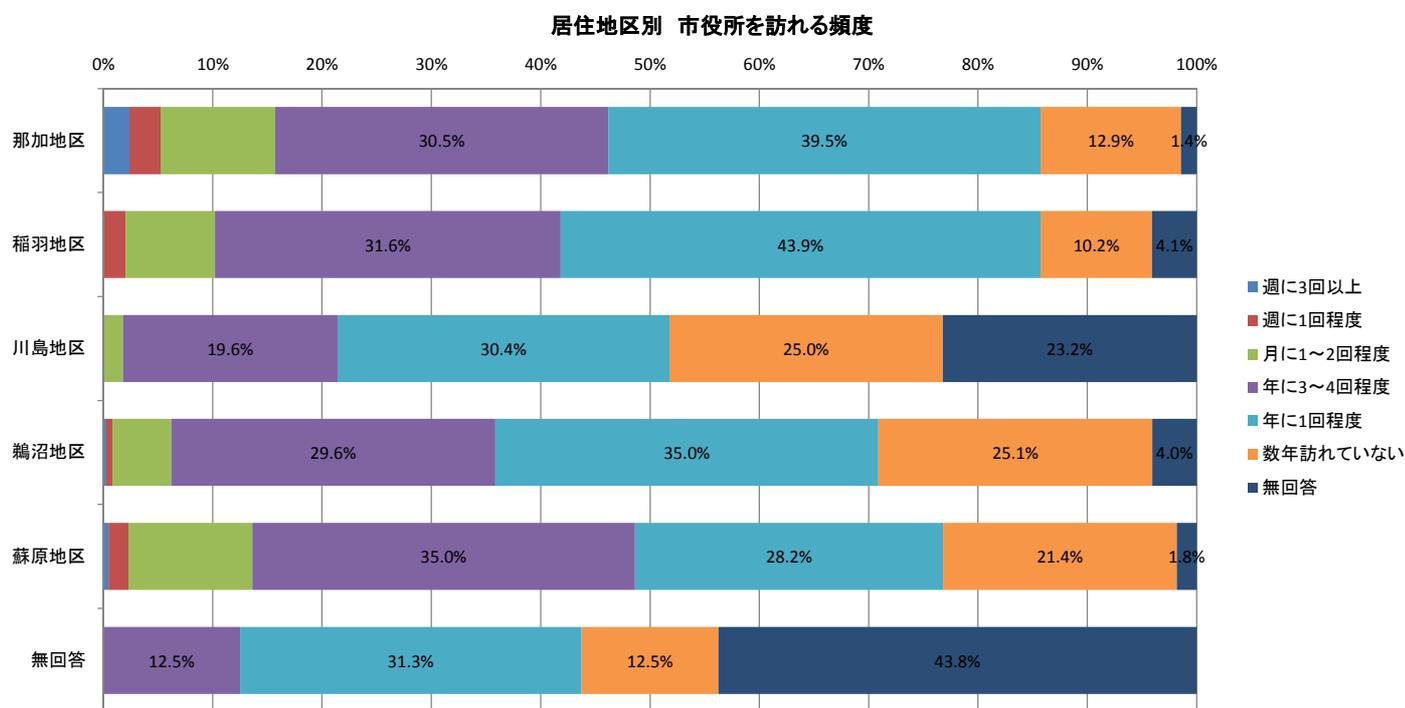
年齢別に市役所の訪問回数を見ると、全体集計結果同様「年に1回程度」が最も多くなっている。一方、70歳以上は「年に3～4回程度」が最多となっている。



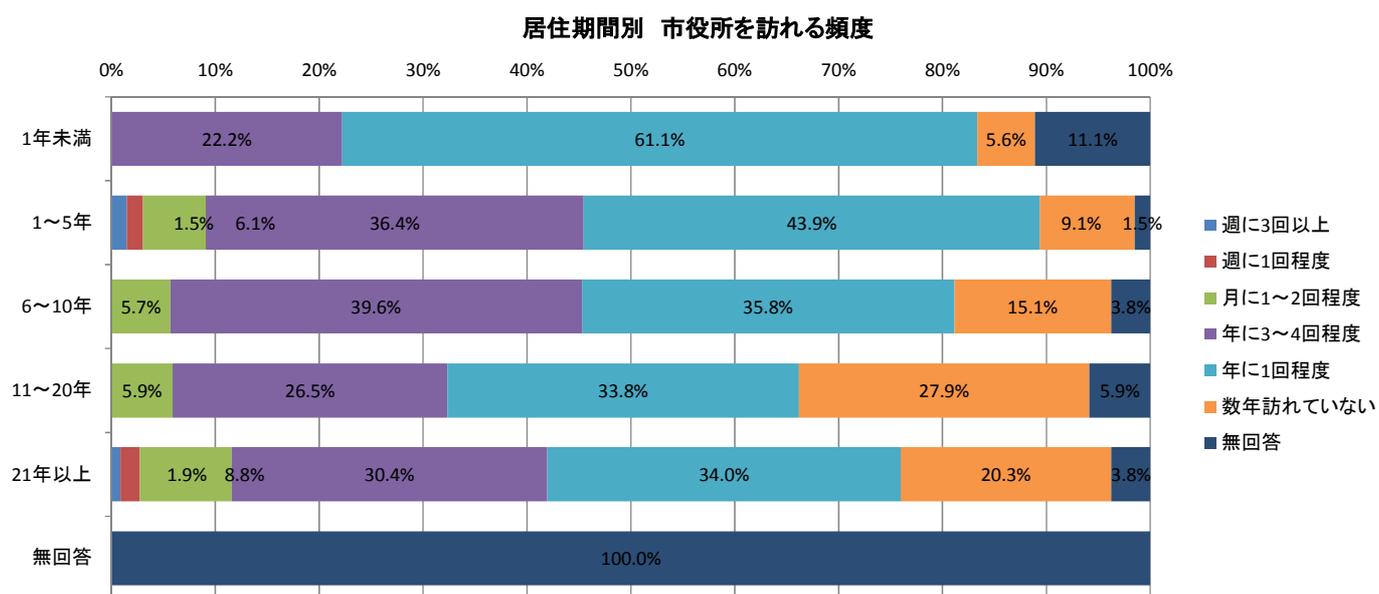
職業別に市役所の訪問回数を見ると、全体集計結果同様「年に1回程度」「年に3～4回程度」が3割以上と最も多くなっている。一方で、学生は「数年訪れていない」と回答した割合が3割以上となっている。



居住地区別に市役所の訪問回数を見ると、全体集計結果同様「年に1回程度」「年に3～4回程度」が多い結果となっている。



居住期間別で見ても、全体集計結果同様「年に1回程度」と「年に3～4回程度」と回答した人が3割以上と多くなっている。「数年訪れていない」と回答した人は居住期間が長い人ほど多い傾向にある。

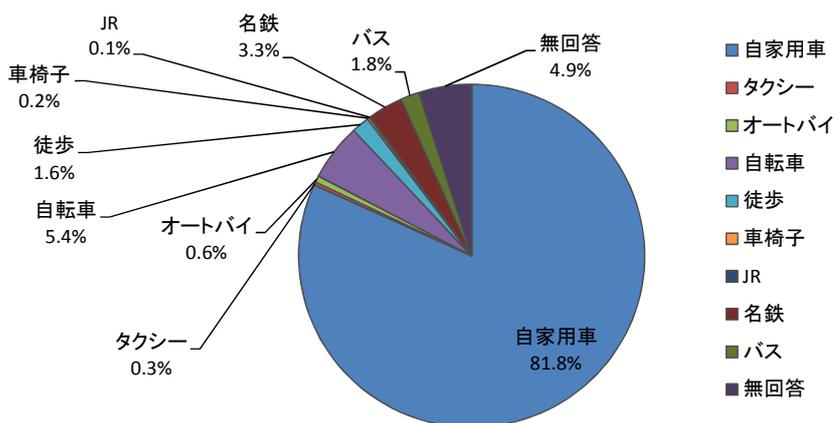


問8. 主にどのような交通手段で市役所に訪れますか？

【全体集計結果の解析】

現在の市役所までの交通手段は「自家用車」が8割と最も多くなっている。

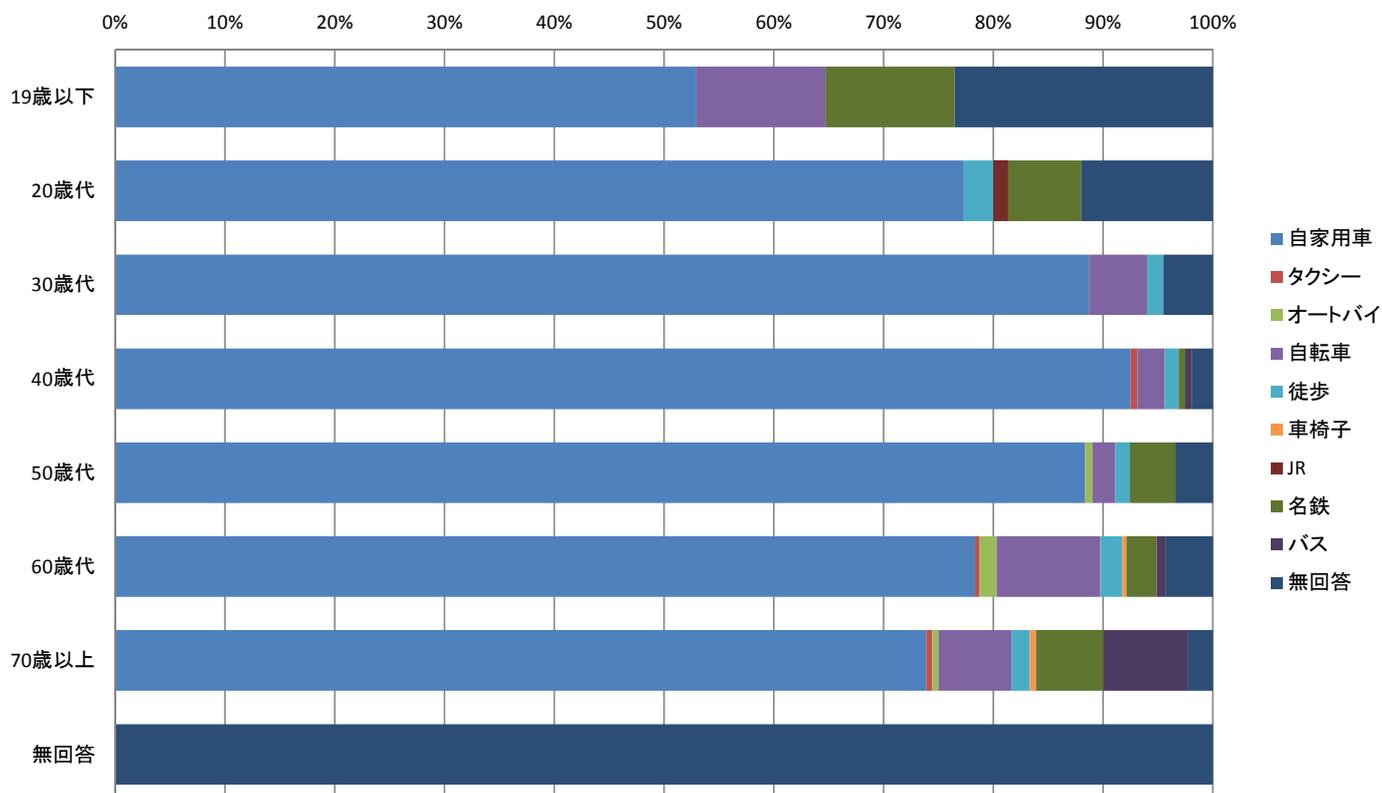
	集計	%
自家用車	794	81.8%
タクシー	3	0.3%
オートバイ	6	0.6%
自転車	52	5.4%
徒歩	16	1.6%
車椅子	2	0.2%
JR	1	0.1%
名鉄	32	3.3%
バス	17	1.8%
無回答	48	4.9%
総計	971	100.0%



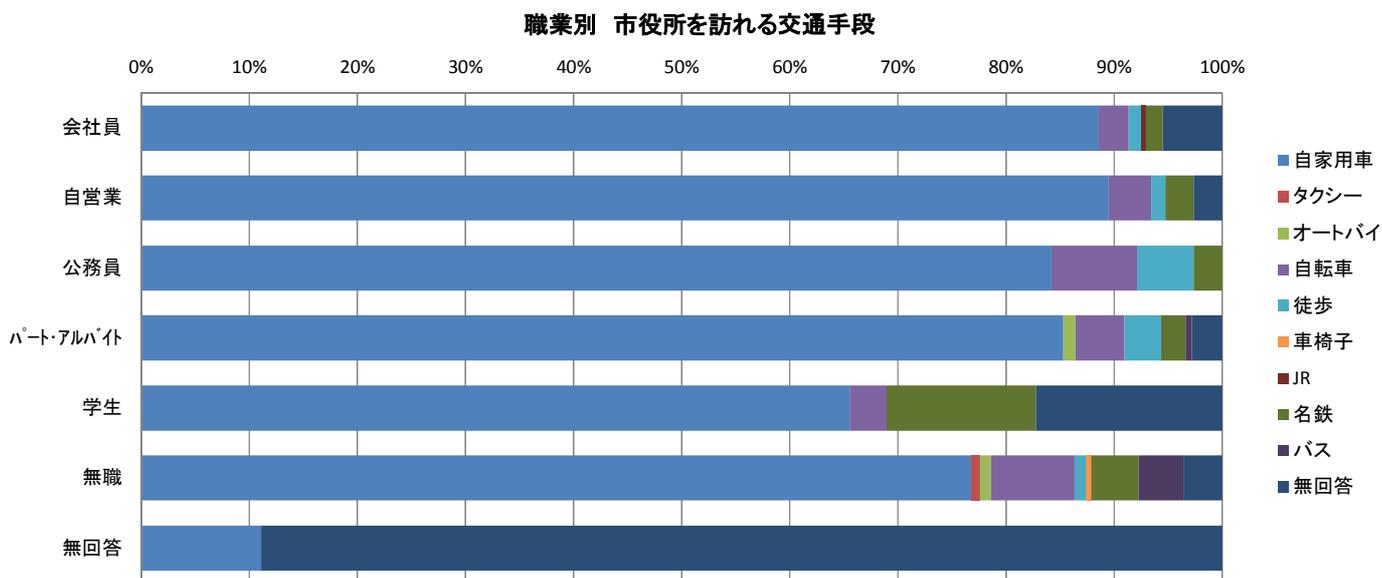
【クロス集計結果の解析】

年齢別に市役所への交通手段を見ると、「19歳以下」を除き、他の全ての年齢で「自家用車」8割弱と多くなっている。

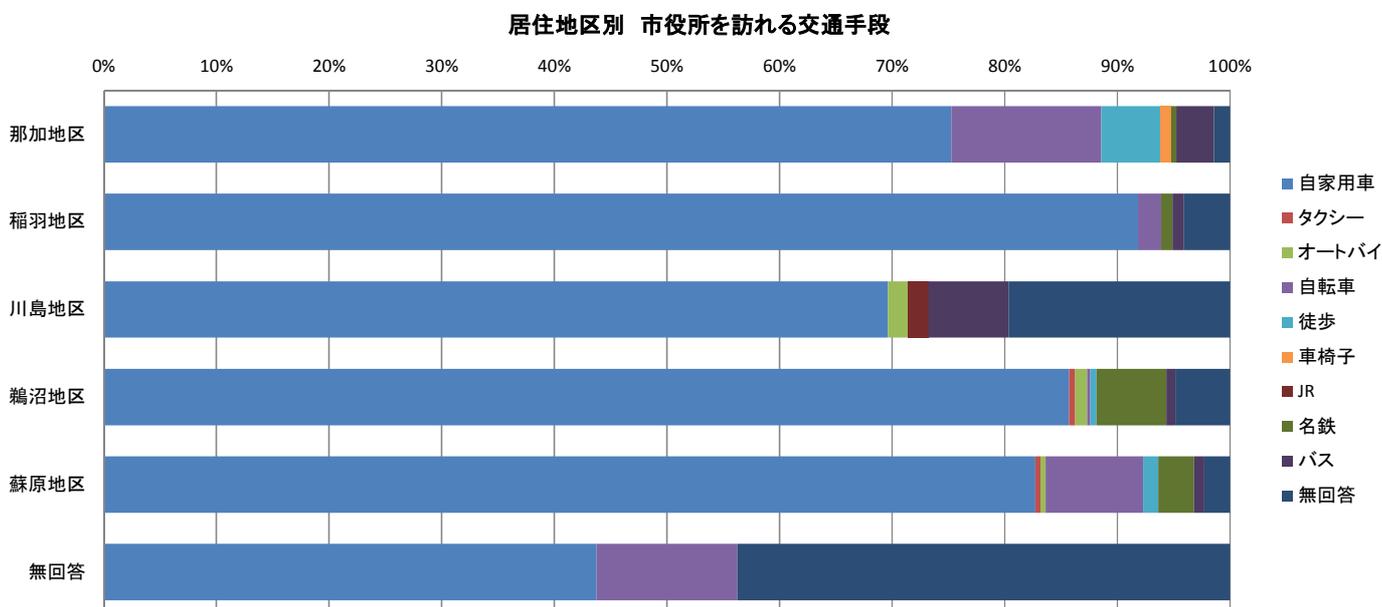
年齢別 市役所を訪れる交通手段



職業別で見ると、年齢別と同様、自家用車が最も多くなっている。



居住地区別で見ると、全ての地区で自家用車が最も多くなっている。那加地区、蘇原地区は自転車で訪れる割合が他地区に比べ多い結果となっている。鉄道が通っている鵜沼地区は名鉄が他地区より多い結果となっている。



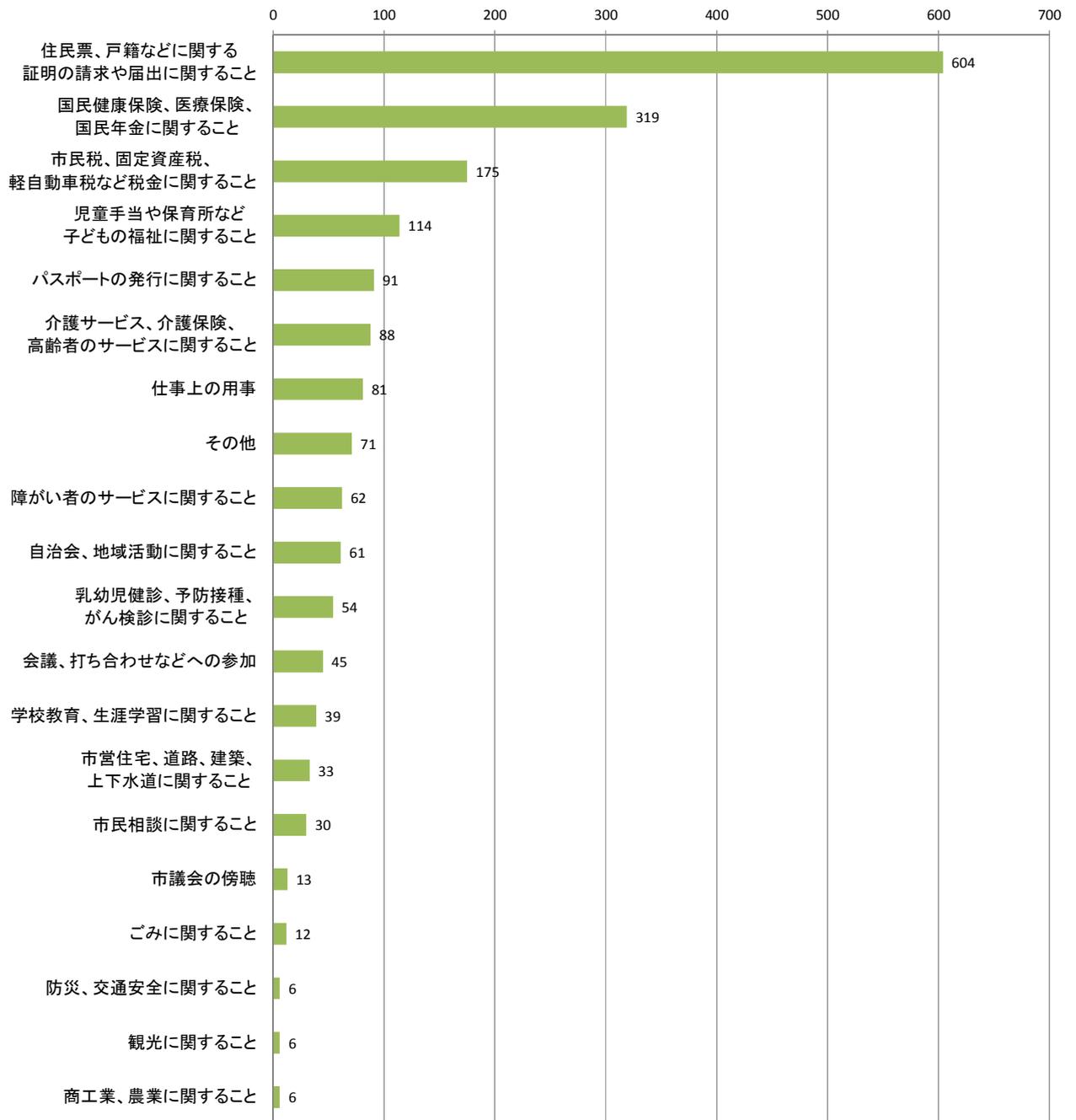
問9. どのような用事で市役所を訪れましたか？

【全体集計結果の解析】

全体の6割を超える人（62.2%）が「戸籍、住民票、印鑑証明に関すること」を目的として市庁舎を訪れている。

次に多い回答は「国民健康保険、国民年金に関すること」（32.9%）、「税金に関すること」（18.0%）、「健康、福祉に関すること」（11.7%）の順になっている。回答の多くは、生活に密着した窓口業務に関することが来訪目的の大部分を占めている。

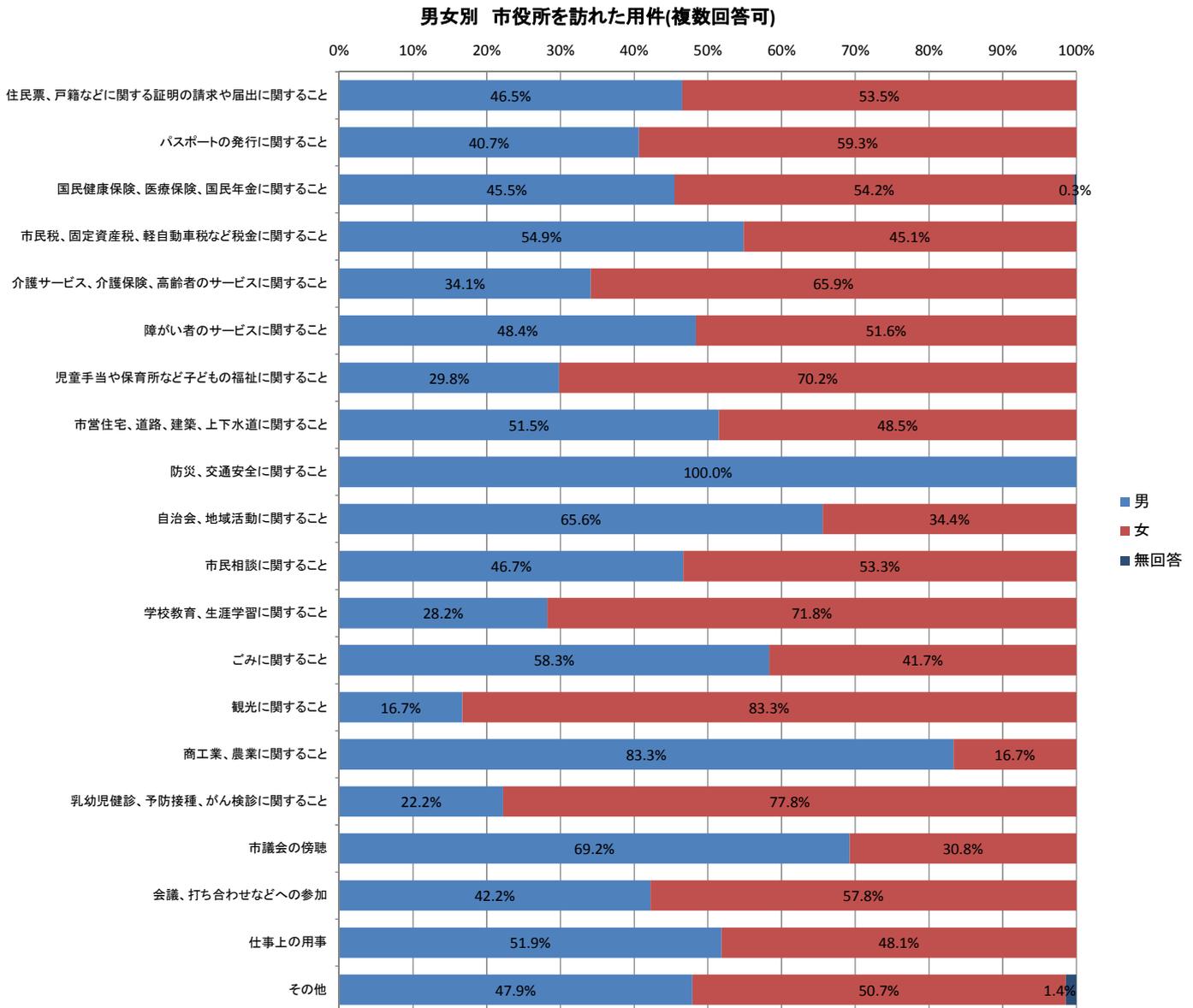
	集計	%
住民票、戸籍などに関する証明の請求や届出に関すること	604	62.2%
国民健康保険、医療保険、国民年金に関すること	319	32.9%
市民税、固定資産税、軽自動車税など税金に関すること	175	18.0%
児童手当や保育所など子どもの福祉に関すること	114	11.7%
パスポートの発行に関すること	91	9.4%
介護サービス、介護保険、高齢者のサービスに関すること	88	9.1%
仕事上の用事	81	8.3%
その他	71	7.3%
障がい者のサービスに関すること	62	6.4%
自治会、地域活動に関すること	61	6.3%
乳幼児健診、予防接種、がん検診に関すること	54	5.6%
会議、打ち合わせなどへの参加	45	4.6%
学校教育、生涯学習に関すること	39	4.0%
市営住宅、道路、建築、上下水道に関すること	33	3.4%
市民相談に関すること	30	3.1%
市議会の傍聴	13	1.3%
ごみに関すること	12	1.2%
防災、交通安全に関すること	6	0.6%
観光に関すること	6	0.6%
商工業、農業に関すること	6	0.6%



【クロス集計結果の解析】

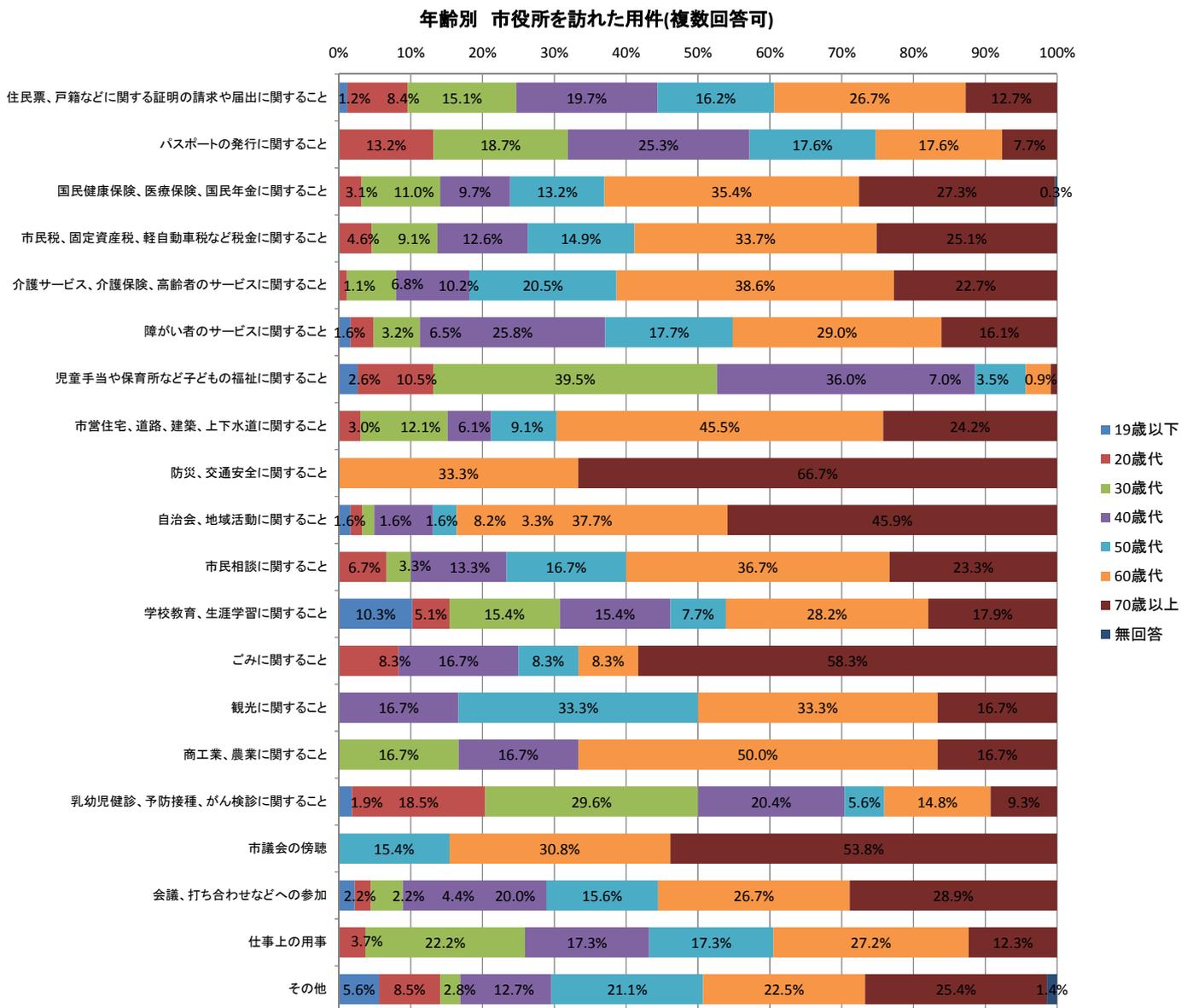
回答者の性別で見ると、「防災、安全に関すること」(100%)、ついで「商工業、農業に関すること」(83.3%) はほぼ全て男性となっている。

女性は「観光に関すること」が8割以上、ついで「乳幼児健診、予防接種、がん検診に関すること」が8割弱、「学校教育、生涯学習に関すること」が7割となっている。



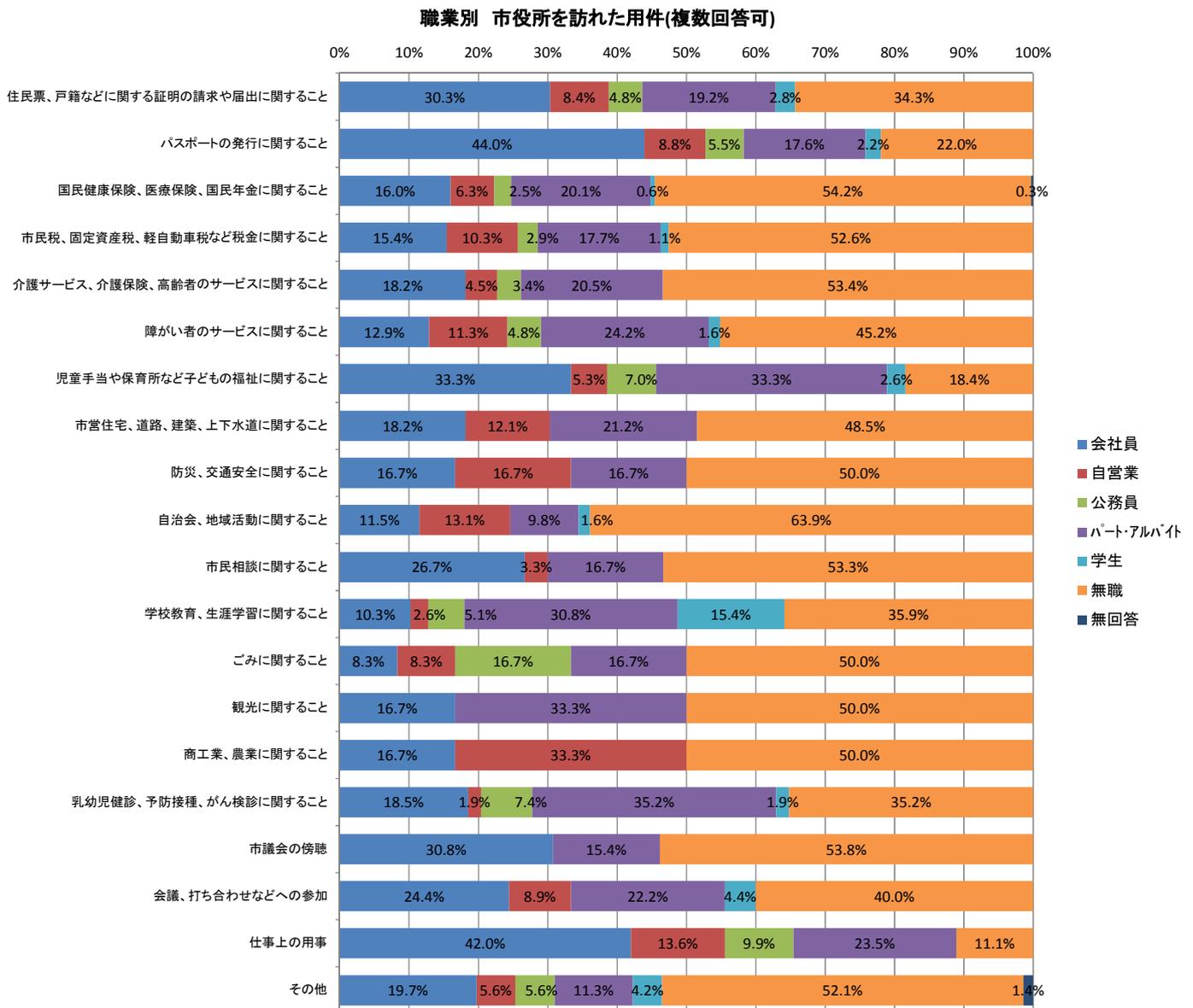
年齢別で見ると、「防災、交通安全に関すること」は70歳代以上の方が7割弱で圧倒的に多く、ついで「ごみに関すること」が6割弱、「市議会の傍聴」が5割以上と全体で見ても1番多い値となっている。

60代では「商工業、農業に関すること」が5割、40代・30代は「児童手当や保育所など子どもの福祉に関すること」が4割弱と1位にある。また、30代・20代は「乳幼児健診、予防接種、がん検診に関すること」が3割弱と2割弱を占める。



職業別で見ると全体的に無職の方の割合が圧倒的に多く、次いで会社員、パート・アルバイト、自営業となる。無職の方の中では「自治会、地域活動に関すること」が6割以上、「国民健康保険、医療保険、国民年金に関すること」が5割以上ということから高齢者の割合が多いことが想像できる。

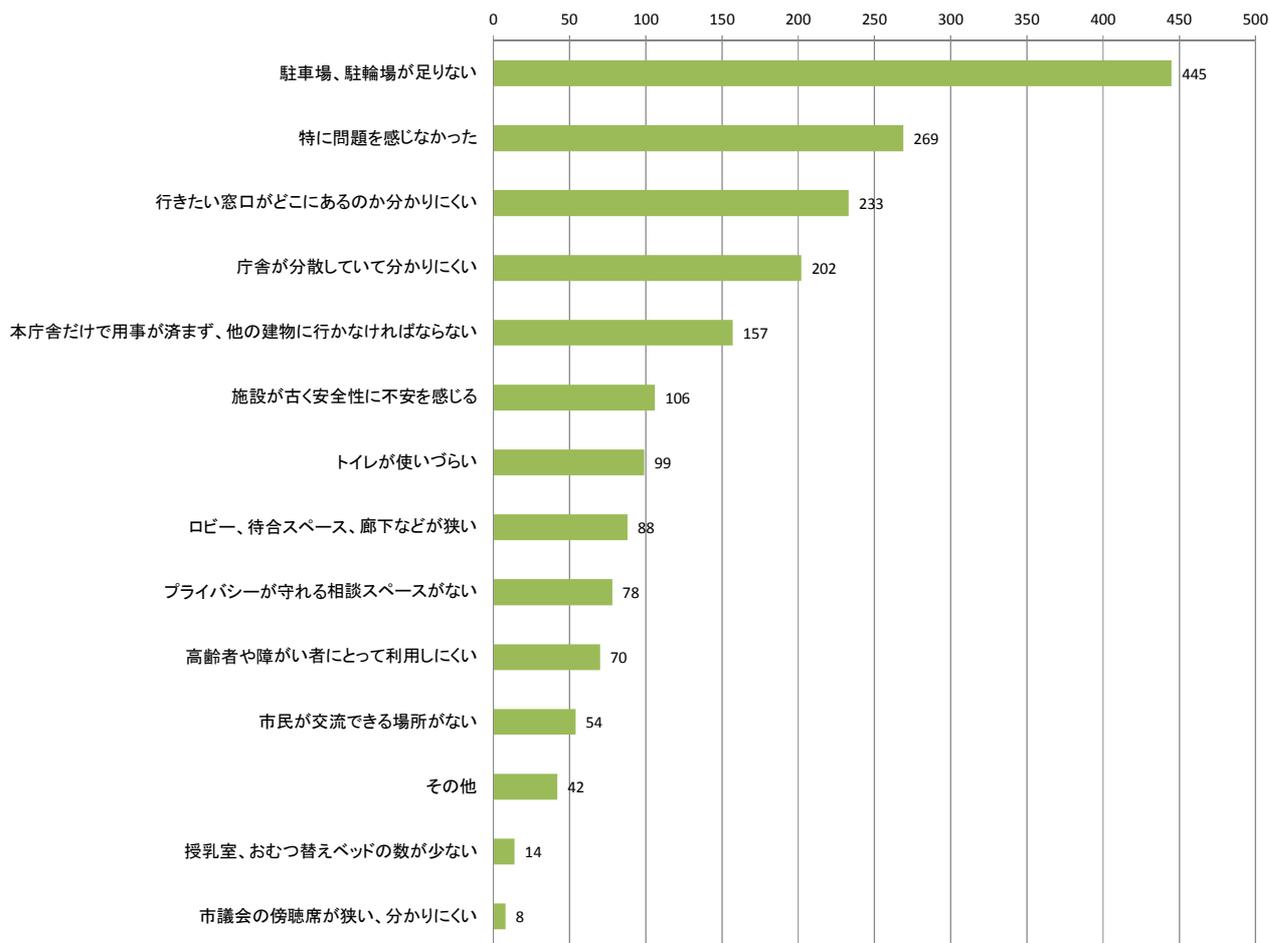
会社員の中では、「パスポートの発行に関すること」「仕事上の用事」が4割以上、「児童手当や保育所など子どもの福祉に関すること」が3割強となる。パート・アルバイトの中では「乳幼児健診、予防接種、がん検診に関すること」が3割以上を占める。続いて、「児童手当や保育所など子どもの福祉に関すること」「観光に関すること」が3割強となる。



問10. 現在の市役所の設備面や環境面でどのように感じますか？（複数回答可：5つ）

【全体集計結果の解析】

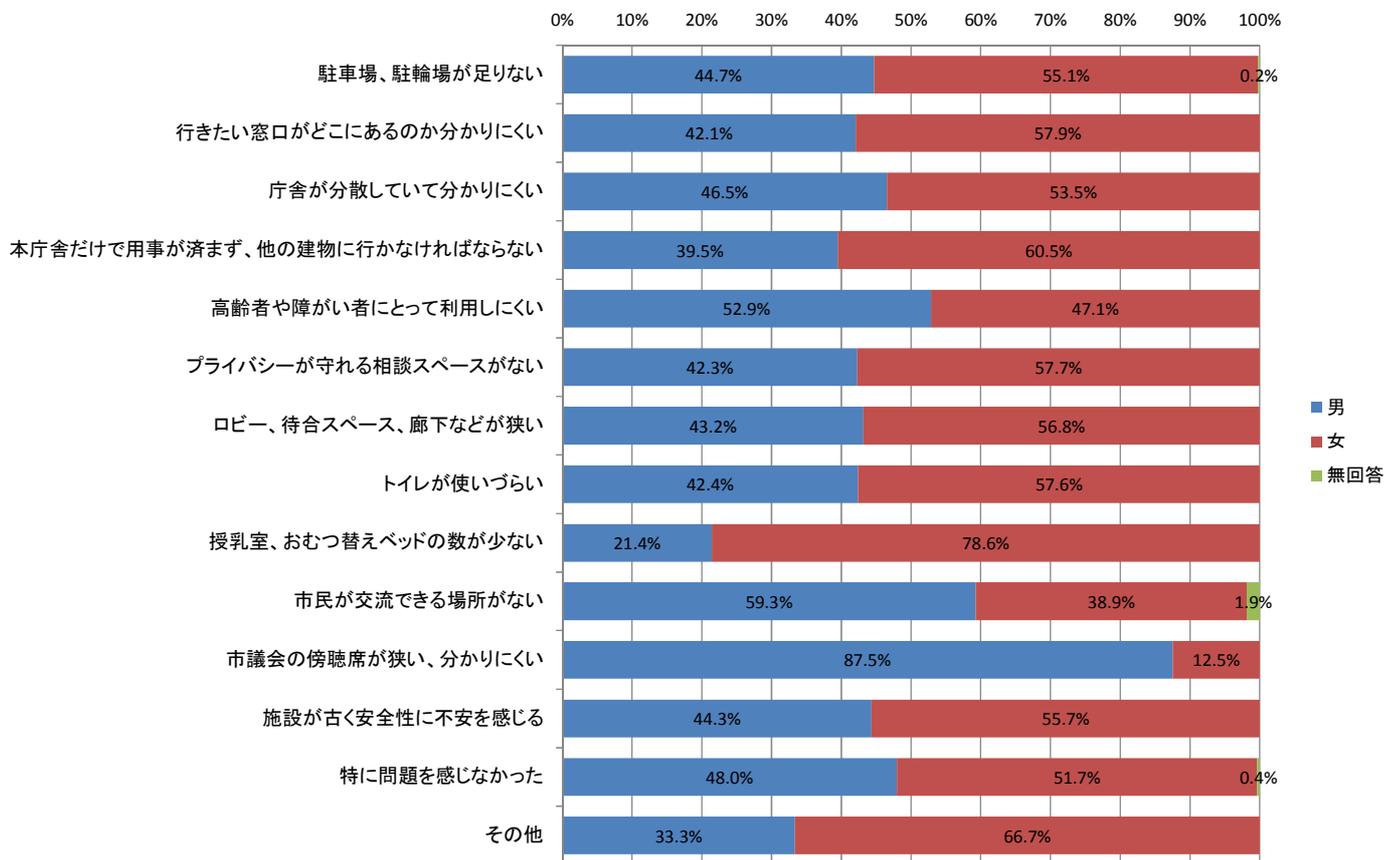
現在の市役所での印象は、「駐車場、駐輪場が足りない」が一番多く、次に「特に問題を感じなかった」、「行きたい窓口がどこにあるのかわかりにくい」、「庁舎が分散していてわかりにくい」の上位順となっている。全体の傾向として、狭い・少ない・場所がないというスペースに関する不便さが目立っている。



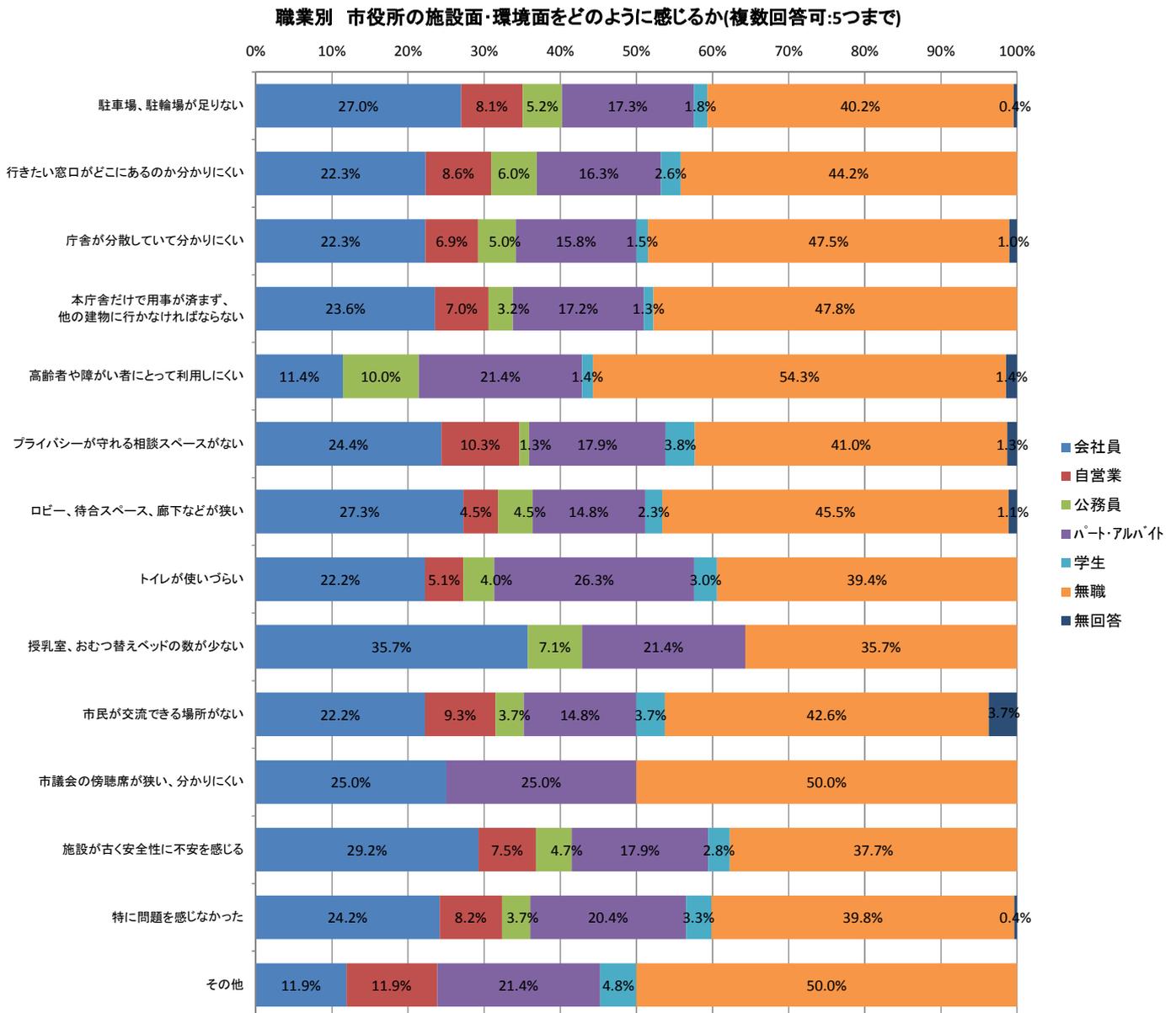
【クロス集計結果の解析】

性別で見ると、男女で大きく差があるのは、「授乳室、おむつ替えベッドの数が少ない」と感じている人は女性が8割弱となり、「市民が交流できる場所がない」(6割)、「市議会の傍聴席が狭い、分かりにくい」(9割弱)と感じている人は男性が多い。

男女別 市役所の施設面・環境面をどのように感じるか(複数回答可:5つまで)



職業別で見ると、「高齢者や障害者にとって利用しにくい」と感じている人の半数を占める割合は無職の人が5割強、ついでパート・アルバイトの人が2割強を占める。「授乳室、おむつ替えベッドの数が少ない」感じている人は無職の人と会社員の人それぞれ4割弱、パート・アルバイトの人が2割強を占める。「市議会の傍聴席が狭い、分かりにくい」と感じている人の半数は無職の人5割、パート・アルバイトの人と会社員の人がそれぞれ25%を占める。自営業の人は「プライバシーが守れる相談スペースがない」と感じている

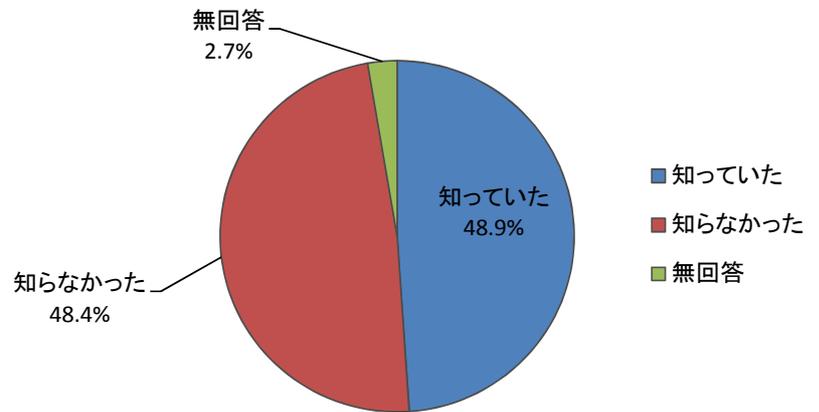


問11. 本庁舎は災害発生時に「災害対策本部」が設置されて、総合的な災害応急対策にあたる拠点となりますが、このことをご存知でしたか？

【全体集計結果の解析】

回答者の意向を見ると、ほぼ半数に分かれる結果となっている。

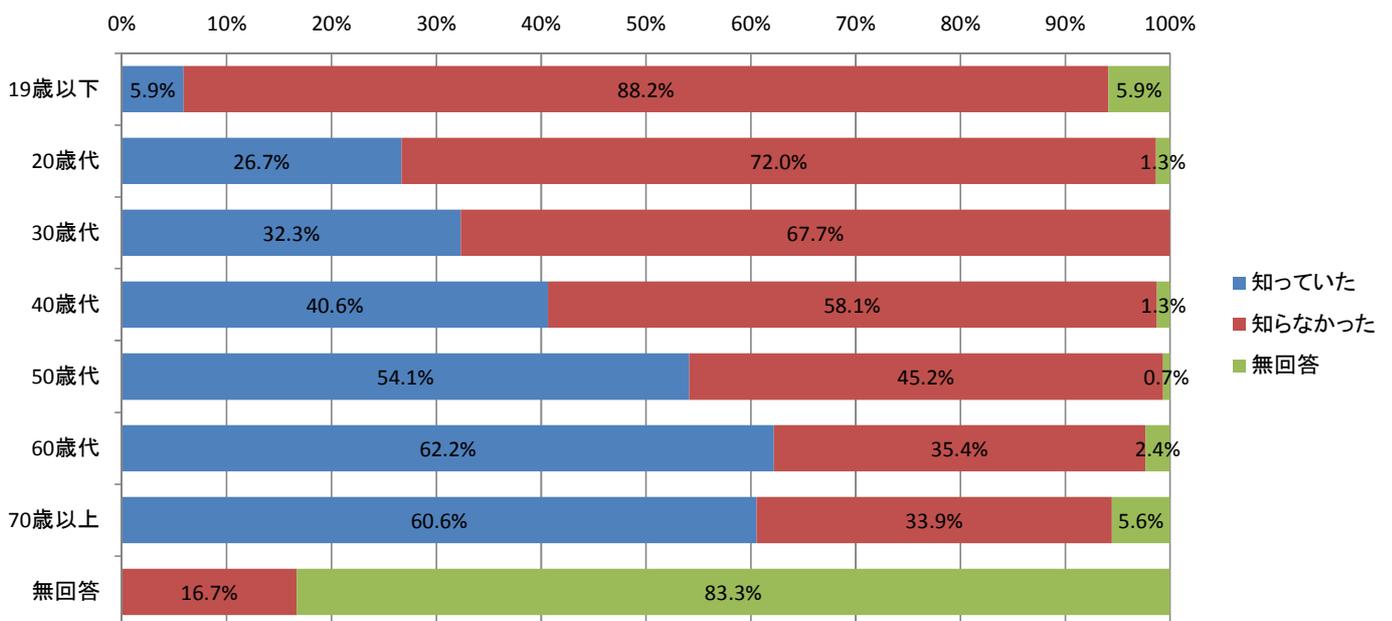
	集計	%
知っていた	475	48.9%
知らなかった	470	48.4%
無回答	26	2.7%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

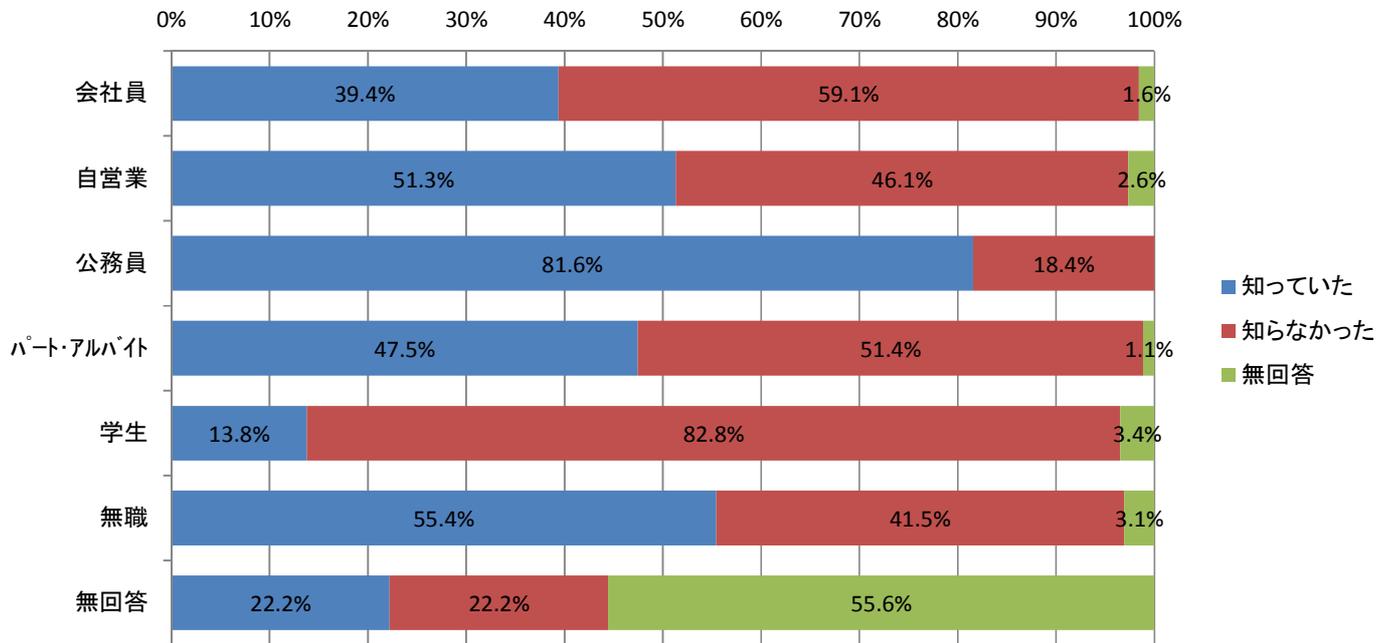
年代別で見ると 19 歳以下は「知っていた」と回答した人は 5.9%でほとんどの人が知らなかったという結果になっている。年代が上がるごとに「知っていた」と回答した割合は多くなる結果となっている。

年齢別 本庁舎が災害応急対策拠点となることを知っているか



職業別で見ると、公務員の人の8割以上は「知っていた」と回答。無職、自営業、パート・アルバイトのほぼ半数も「知っていた」と回答。学生は「知っていた」と回答した割合は13.8%で、年代別の結果同様若い人は、ほぼ知らなかったという結果になっている。

職業別 本庁舎が災害応急対策拠点となることを知っているか



居住期間別で見ると、居住期間が短いほど「知らなかった」という傾向にある。21年以上居住で半数が「知っていた」という結果になっている。

居住期間別 本庁舎が災害応急対策拠点となることを知っているか



問12. 本庁舎の耐震化を検討するにあたって、あなたほどのようなことが重要だと思われませんか？

耐震化の検討にあたり、重要と思う事項について（全体まとめ）

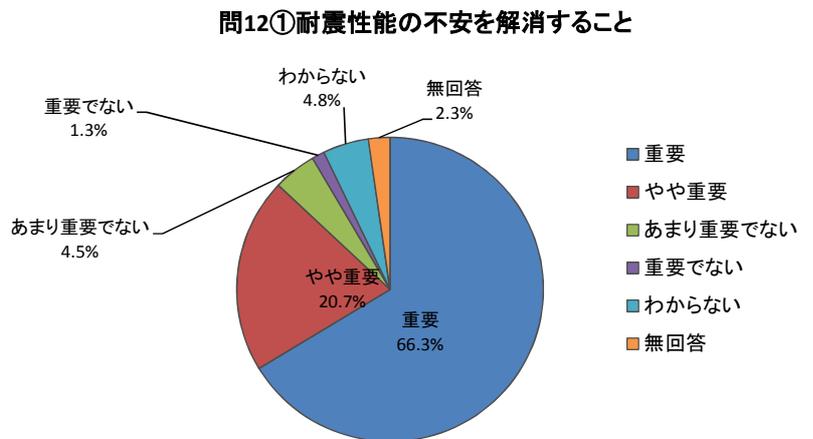
「耐震性の不安を解消すること」が644件（66.3%）と非常に多く、次いで「市の財政負担が少ない方法であること」が514件（52.9%）「費用対効果の高い方法であること」が459件（47.3%）となっている。

①耐震性能の不安を解消すること

【全体集計結果の解析】

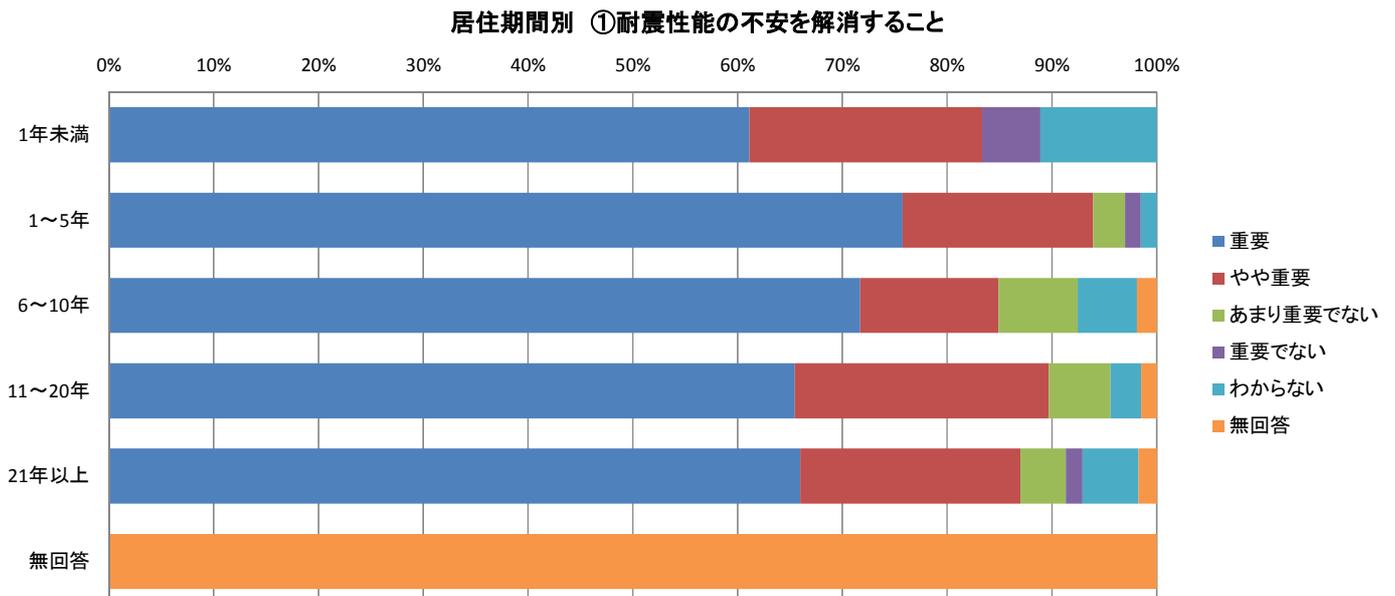
やや重要も合わせて85%以上の人が重要と回答。

	集計	%
重要	644	66.3%
やや重要	201	20.7%
あまり重要でない	44	4.5%
重要でない	13	1.3%
わからない	47	4.8%
無回答	22	2.3%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

居住期間別で本庁舎耐震化として「重要」と思うことに関する意向を見ると、比率に大きな差はなく、全体傾向とほぼ同じ比率となっている。



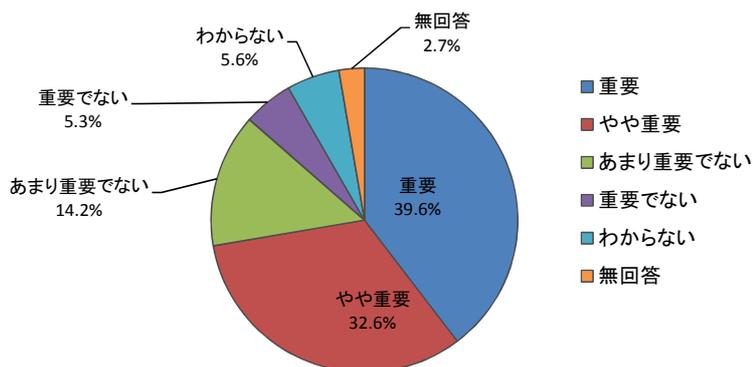
②耐震化にあわせて庁舎の利便性が高くなること

【全体集計結果の解析】

やや重要と回答した人も合わせて、7割以上が重要と回答。

しかしあまり重要でないと回答した人も14.2%いる。

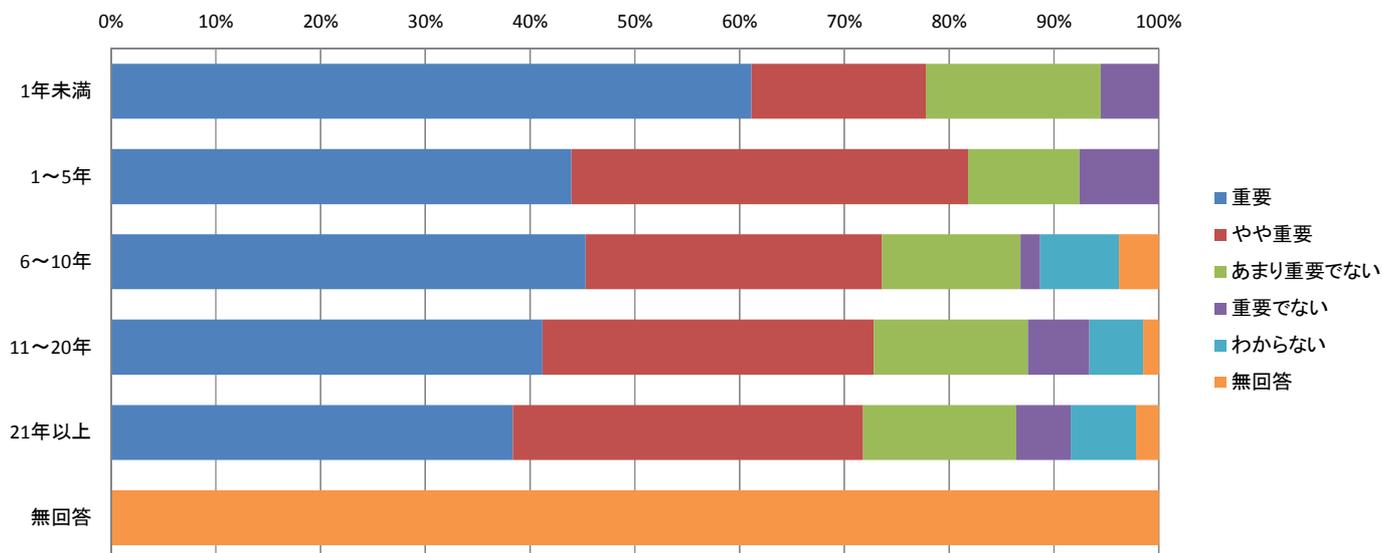
	集計	%
重要	385	39.6%
やや重要	317	32.6%
あまり重要でない	138	14.2%
重要でない	51	5.3%
わからない	54	5.6%
無回答	26	2.7%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

居住期間別にみると全体の傾向とほぼ同じ比率になっている。「1年未満」のみが6割となっている。

居住期間別 ②耐震化にあわせ庁舎の利便性が高くなること

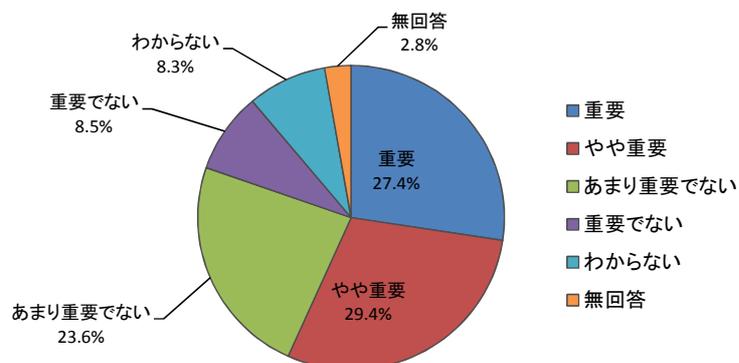


③耐震化にあわせた庁舎分散の解消ができること

【全体集計結果の解析】

全体として、3割弱の方が「重要」と考えている。「重要」「やや重要」もあわせて、半数以上が「重要」と回答していて、一方で「重要でない」と思っている割合も3割以上となっている。

	集計	%
重要	266	27.4%
やや重要	285	29.4%
あまり重要でない	229	23.6%
重要でない	83	8.5%
わからない	81	8.3%
無回答	27	2.8%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

全体として、約3割の方が「重要」と考えている。「重要」「やや重要」あわせて、半数以上の方が「重要」と回答している。一方で、「重要でない」「あまり重要でない」と考えている割合も3割以上となっている。

居住期間別 ③耐震化にあわせ庁舎分散の解消ができること

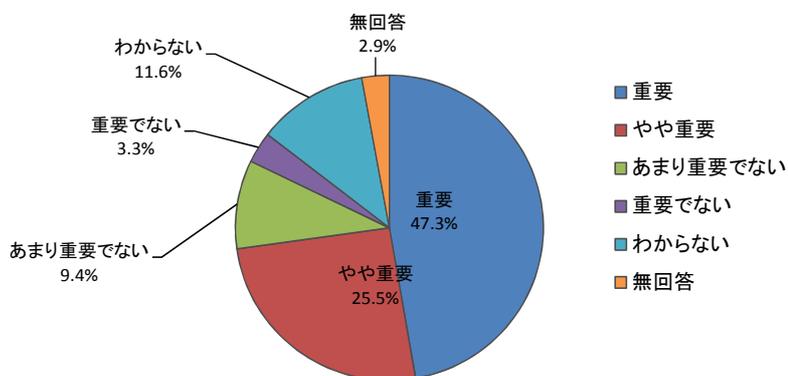


④費用対効果の高い方法であること

【全体集計結果の解析】

7割以上の人重要という結果になっている。

	集計	%
重要	459	47.3%
やや重要	248	25.5%
あまり重要でない	91	9.4%
重要でない	32	3.3%
わからない	113	11.6%
無回答	28	2.9%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

居住期間別で見ると、重要と思っている割合と重要でないと思っている割合は属性別でみると比率に大きな差はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率になっている。「分からない」と回答した割合は居住期間が長い人のほうが多い傾向にある。

居住期間別 ④費用対効果の高い方法であること

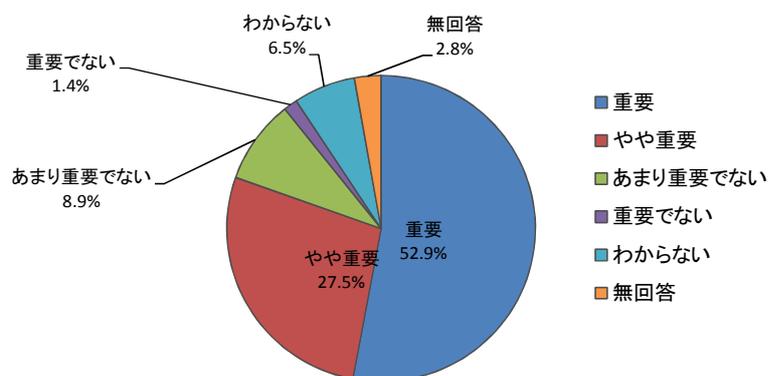


⑤市の財政負担が少ない方法であること

【全体集計結果の解析】

8割以上が重要と回答。

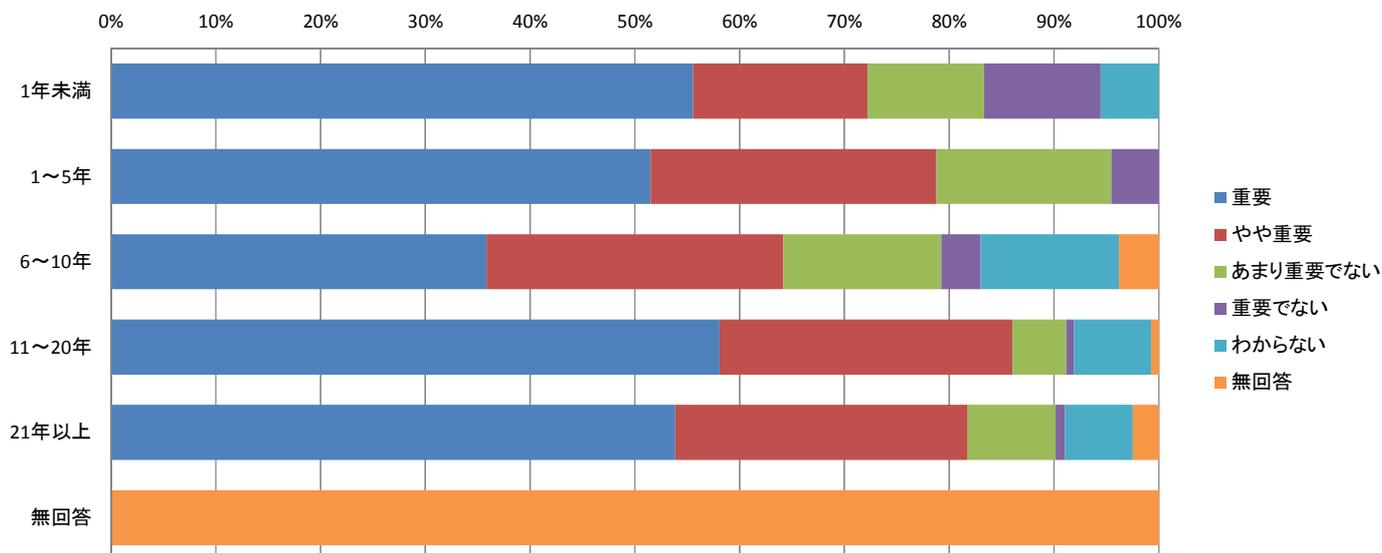
	集計	%
重要	514	52.9%
やや重要	267	27.5%
あまり重要でない	86	8.9%
重要でない	14	1.4%
わからない	63	6.5%
無回答	27	2.8%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

居住年数が11年以上の人は8割以上が重要と思っている。居住年数5年以下も7割以上が重要と回答しているが、違いは11年以上の居住者が重要でないと回答している割合が1割以下なのに対して、5年以下の居住者は2割以上が重要でないと回答している。

居住期間別 ⑤市の財政負担が少ない方法であること

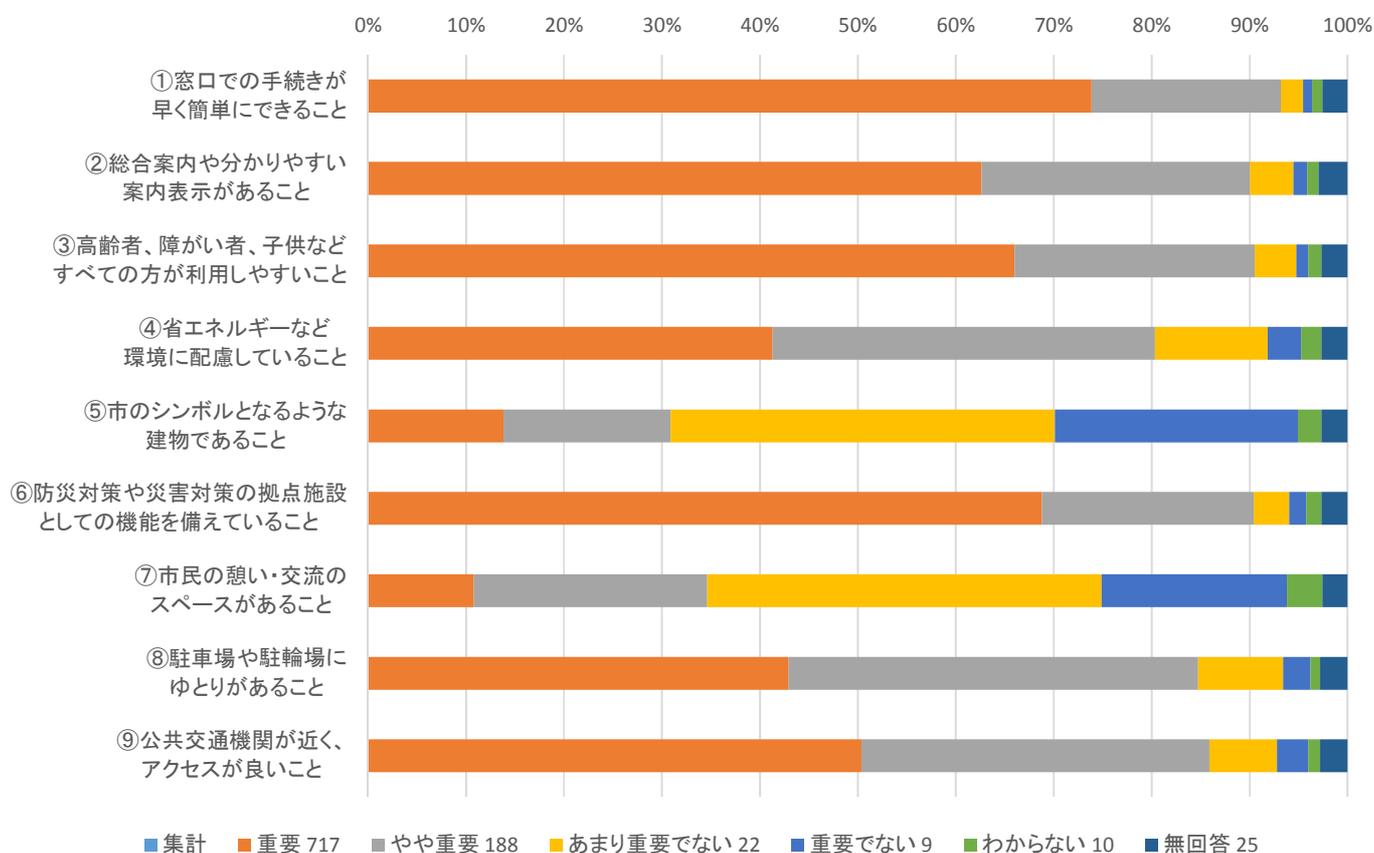


問13. これからの本庁舎のあり方について①～⑨の項目ごとにあなたの考えと近い評価に該当する番号を1つ選んでください。

【全体集計結果の解析】

これからの本庁舎のあり方としては、「窓口の手続きが早く簡単にできること」が 717 件 (73.8%)、「防災・災害対策拠点であること」が 668 件 (68.8%)、「誰もが利用しやすいこと」が 641 件 (66%)、「総合案内が分かりやすい案内表示があること」が 608 件 (62.6%)と 6 割以上の方が「重要」と考えている。次いで、「公共交通機関が近く、アクセスが良いこと」が 489 件 (50.4%)、「省エネ等環境配慮」が 401 件 (42.9%) になっている。また「市民の憩い・交流スペースがあること」を除く項目について、「重要」「やや重要」と考えている方が 80%以上となっている。

	①窓口での手続きが早く簡単にできると	②総合案内や分かりやすい案内表示があること	③高齢者、障がい者、子供などすべての方が利用しやすいこと	④省エネルギーなど環境に配慮していること	⑤市のシンボルとなるような建物であること	⑥防災対策や災害対策の拠点施設としての機能を備えていること	⑦市民の憩い・交流のスペースがあること	⑧駐車場や駐輪場にゆとりがあること	⑨公共交通機関が近く、アクセスが良いこと
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
重要	73.8%	62.6%	66.0%	41.3%	13.8%	68.8%	10.8%	42.9%	50.4%
やや重要	19.4%	27.4%	24.5%	39.0%	17.1%	21.6%	23.8%	41.8%	35.5%
あまり重要でない	2.3%	4.4%	4.2%	11.5%	39.2%	3.6%	40.3%	8.7%	6.9%
重要でない	0.9%	1.4%	1.2%	3.4%	24.8%	1.8%	18.9%	2.8%	3.2%
わからない	1.0%	1.1%	1.3%	2.1%	2.4%	1.5%	3.6%	1.0%	1.2%
無回答	2.6%	3.0%	2.7%	2.7%	2.7%	2.7%	2.6%	2.8%	2.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

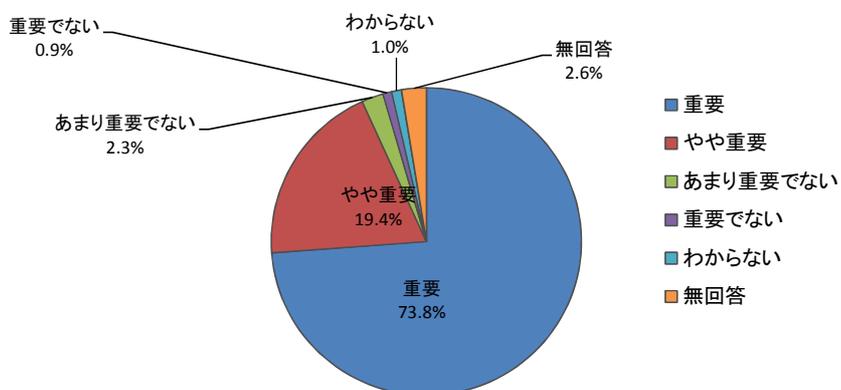


① 窓口での手続きが早く簡単にできること

【全体集計結果の解析】

9割以上が重要と回答。

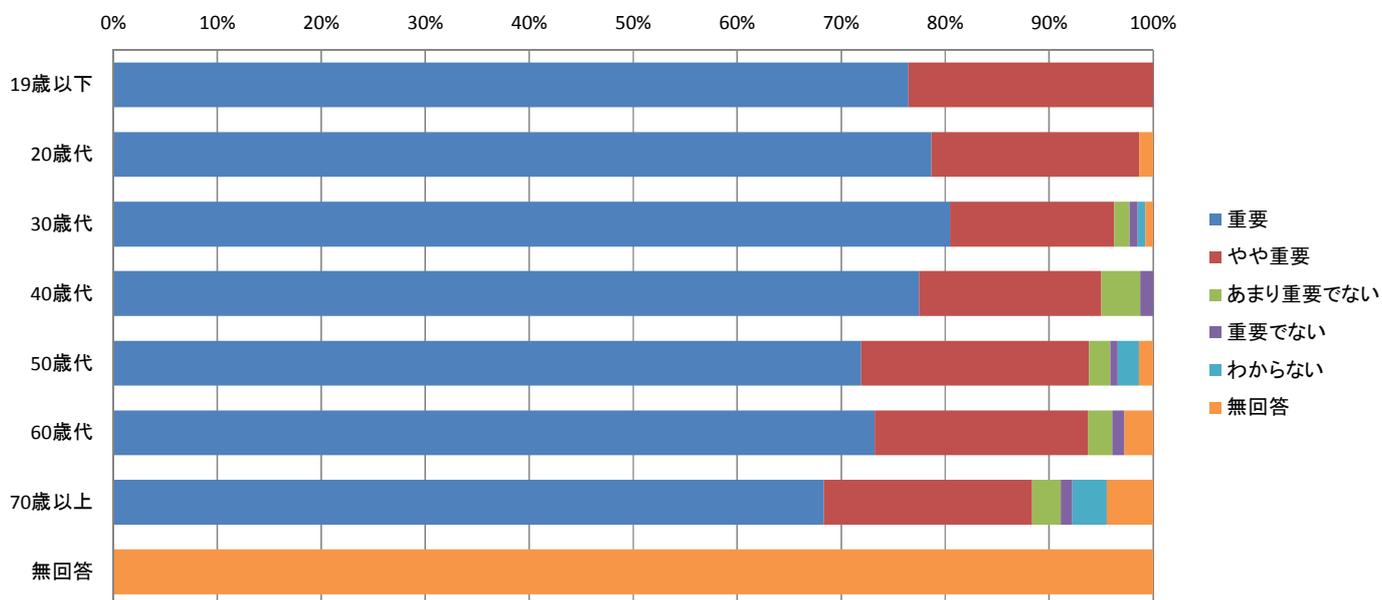
	集計	%
重要	717	73.8%
やや重要	188	19.4%
あまり重要でない	22	2.3%
重要でない	9	0.9%
わからない	10	1.0%
無回答	25	2.6%
総計	971	100.0%



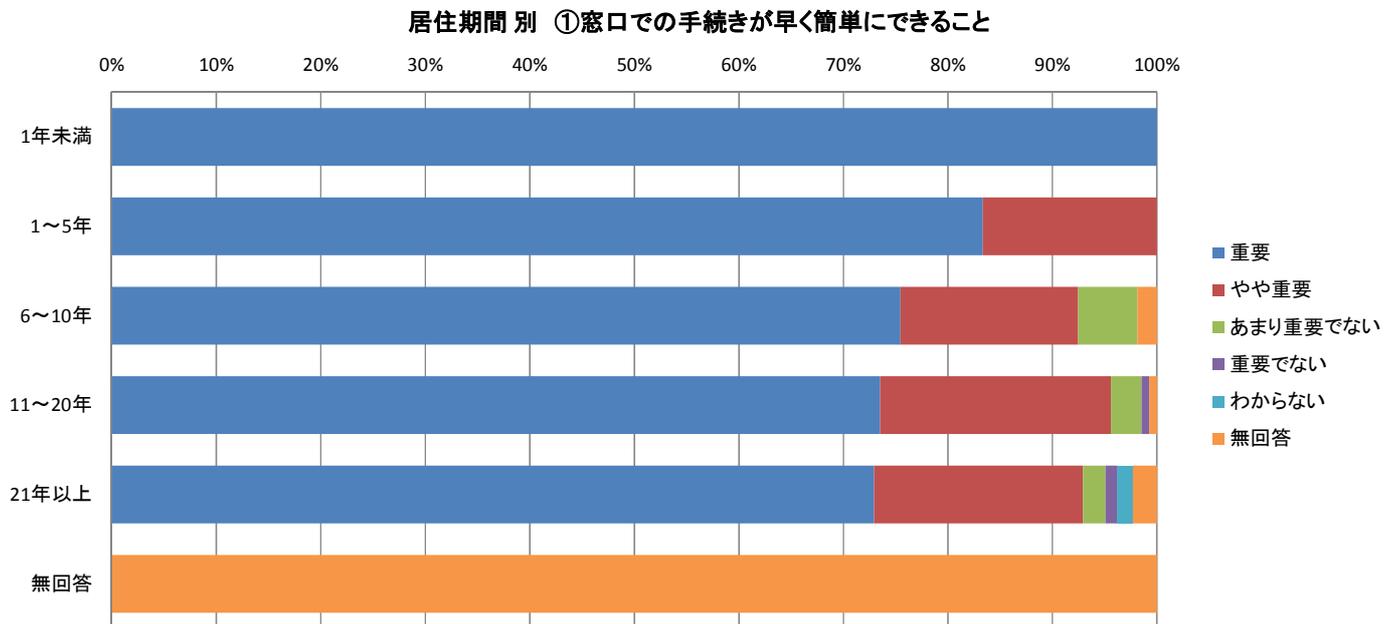
【クロス集計結果の解析】

回答者のすべての年齢層で約7割の方が「窓口での手続きが早く簡単にできること」を「重要」と考えている。

年齢別 ①窓口での手続きが早く簡単にできること



居住期間別での意向をみると、居住期間によって「窓口での手続きが早く簡単にできること」を「重要」と考える方は、約7割以上と非常に多く、居住期間が短い程その割合が高い。

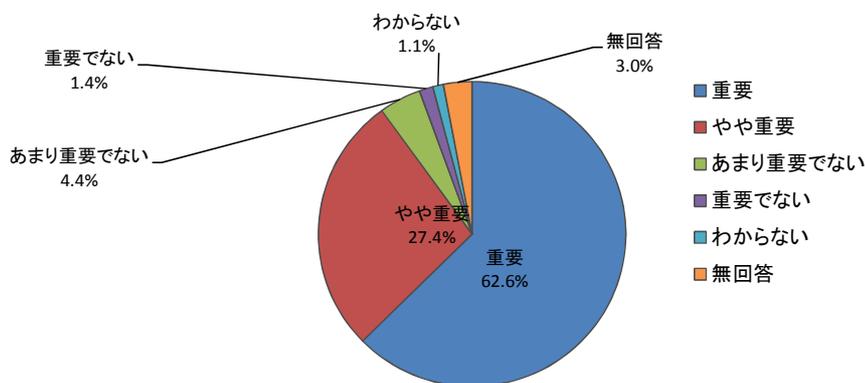


② 総合案内や分かりやすい案内表示があること

【全体集計結果の解析】

9割が重要と回答。

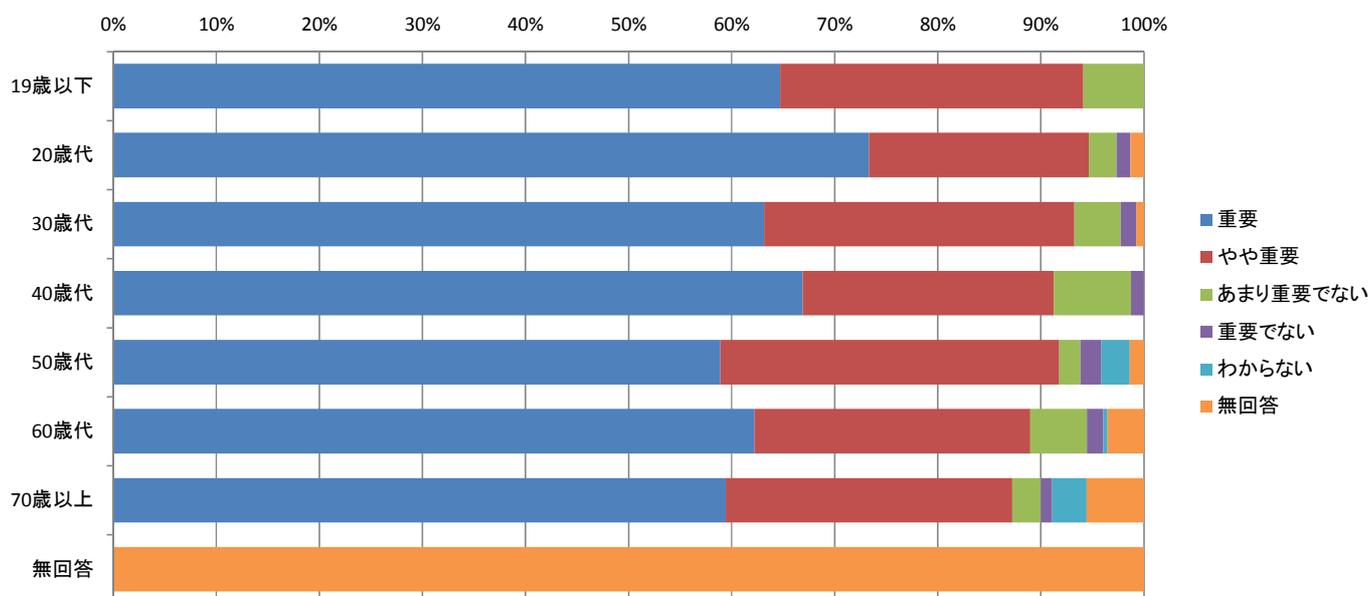
	集計	%
重要	608	62.6%
やや重要	266	27.4%
あまり重要でない	43	4.4%
重要でない	14	1.4%
わからない	11	1.1%
無回答	29	3.0%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

回答者のすべての年齢層で約6割の方が「総合案内や分かりやすい案内表示があること」を「重要」と考えている。

年齢別 ②総合案内や分かりやすい案内表示があること

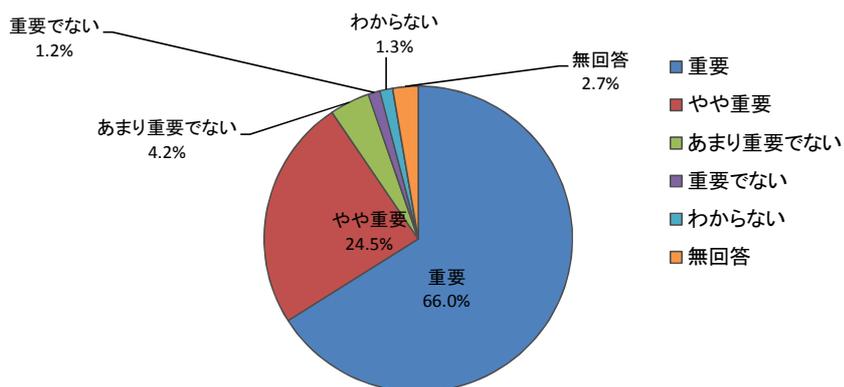


③ 高齢者、障害者、子どもなどすべての方が利用しやすいこと

【全体集計結果の解析】

年齢別・居住期間別で見ると、比率に大きな差はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率になっており「総合案内や分かりやすい案内表示があること」を「重要」「やや重要」あわせて約 9 割を占めている。

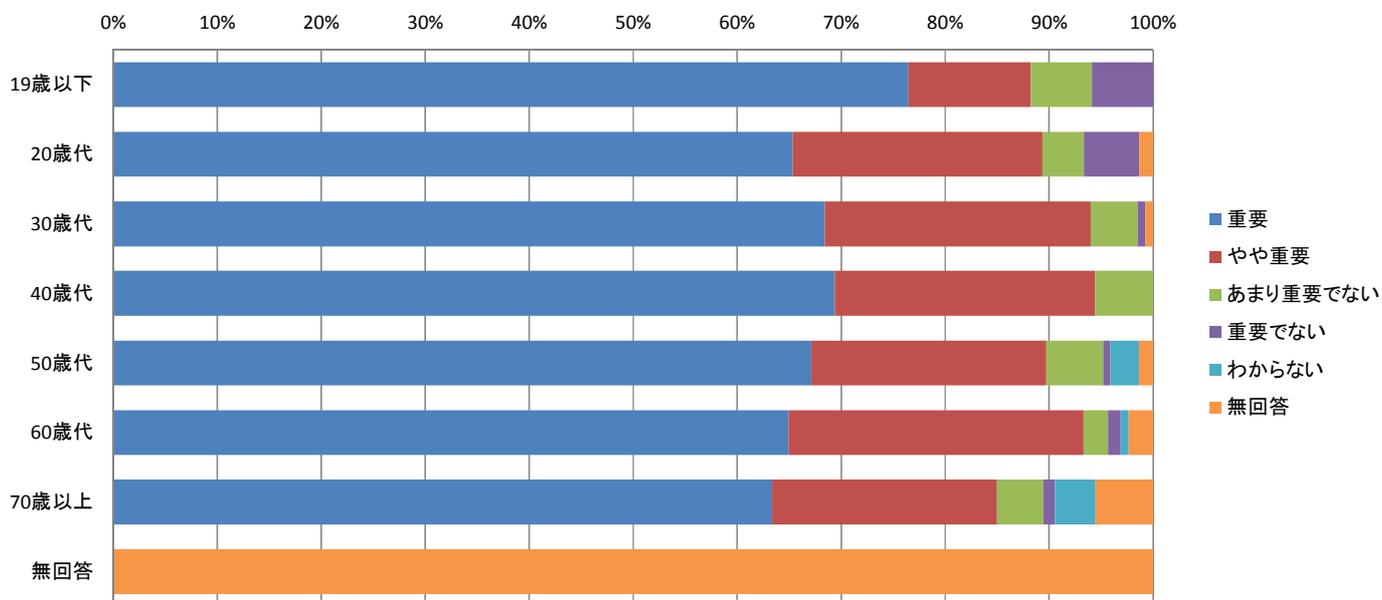
	集計	%
重要	641	66.0%
やや重要	238	24.5%
あまり重要でない	41	4.2%
重要でない	12	1.2%
わからない	13	1.3%
無回答	26	2.7%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

➤ 年齢別で見ても全体集計結果とほぼ同様 90%前後が重要と回答。

年齢別 ③高齢者、障がい者、子供などすべての方が利用しやすいこと

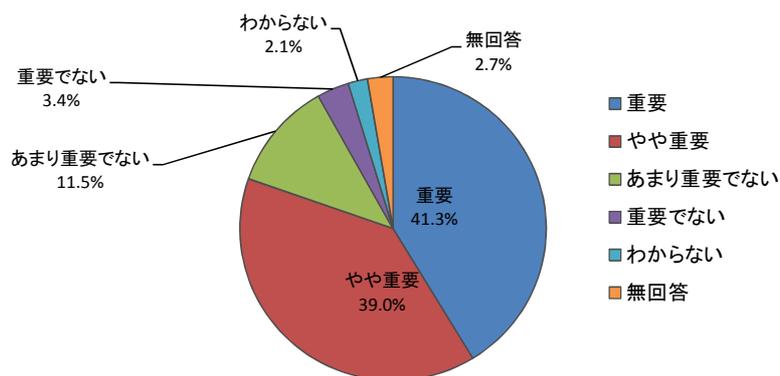


④ 省エネルギーなど環境に配慮していること

【全体集計結果の解析】

年齢別・居住期間別で見ると、比率に大きな差はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率になっており「総合案内や分かりやすい案内表示があること」を「重要」「やや重要」あわせて約9割を占めている。

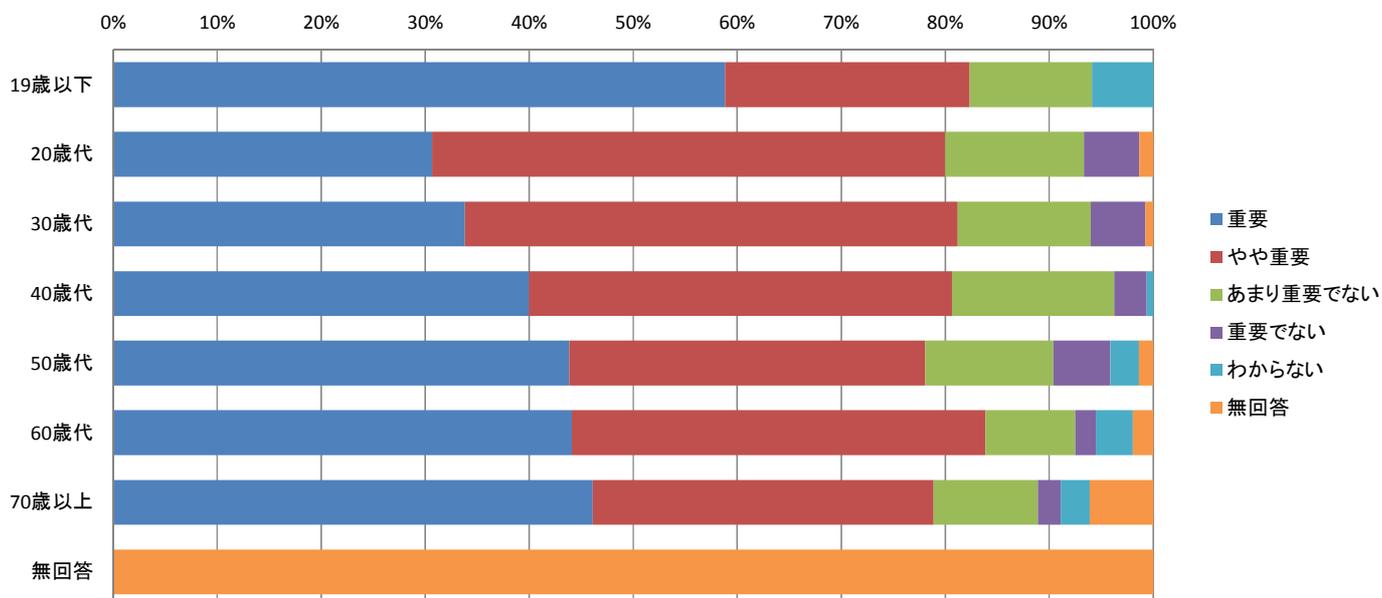
	集計	%
重要	401	41.3%
やや重要	379	39.0%
あまり重要でない	112	11.5%
重要でない	33	3.4%
わからない	20	2.1%
無回答	26	2.7%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

全体集計結果同様、約8割の人が重要と回答。

年齢別 ④省エネルギーなど環境に配慮していること

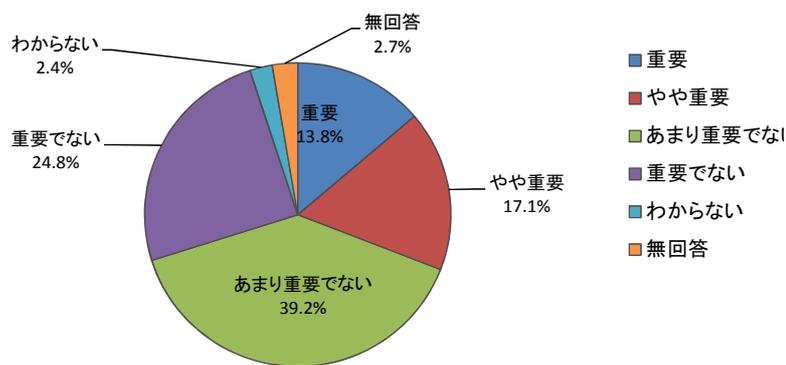


⑤ 市のシンボルとなるような建物であること

【全体集計結果の解析】

回答者の中で「重要」と回答した人は3割に対して、重要でないと回答した割合は6割以上と過半数を占める結果となっている。

	集計	%
重要	134	13.8%
やや重要	166	17.1%
あまり重要でない	381	39.2%
重要でない	241	24.8%
わからない	23	2.4%
無回答	26	2.7%
総計	971	100.0%

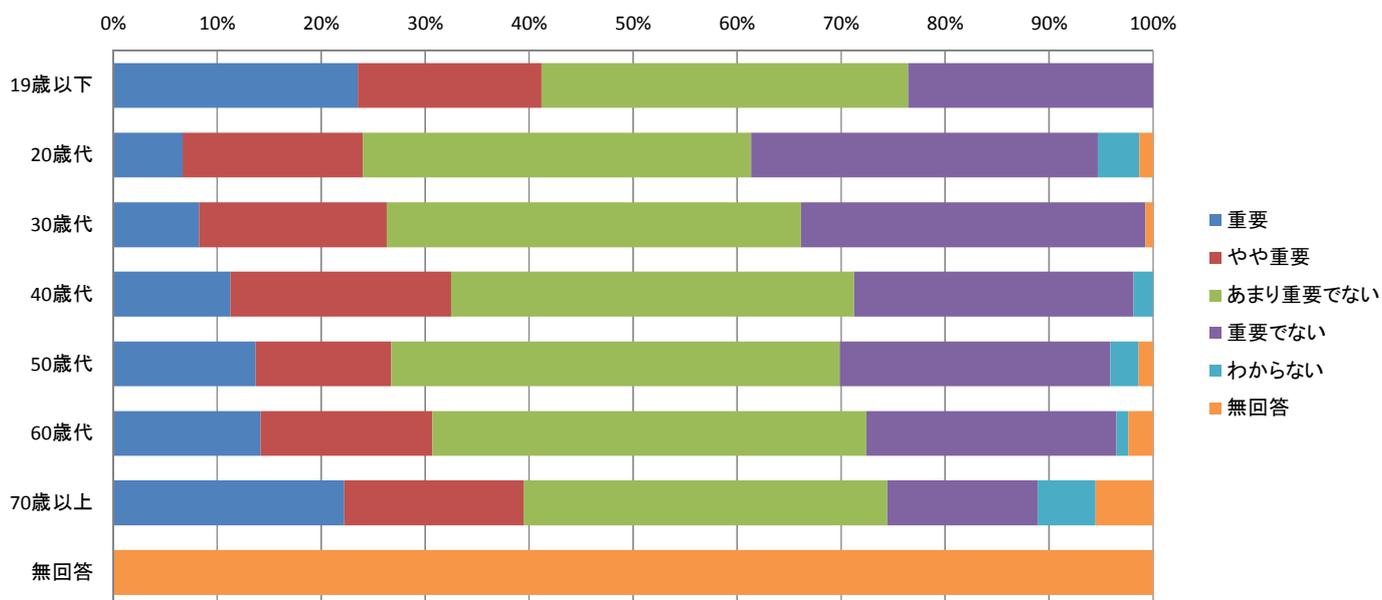


【クロス集計結果の解析】

年齢別で見ると、「19歳以下」と「70歳以上」では、約4割弱の方が「重要」と考えているがその他の年齢層では、「あまり重要でない」と考える方が多い。

居住期間別で見ると、比率に大きな差はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率になっている。

年齢別 ⑤市のシンボルとなるような建物であること



居住期間別 ⑤市のシンボルとなるような建物であること

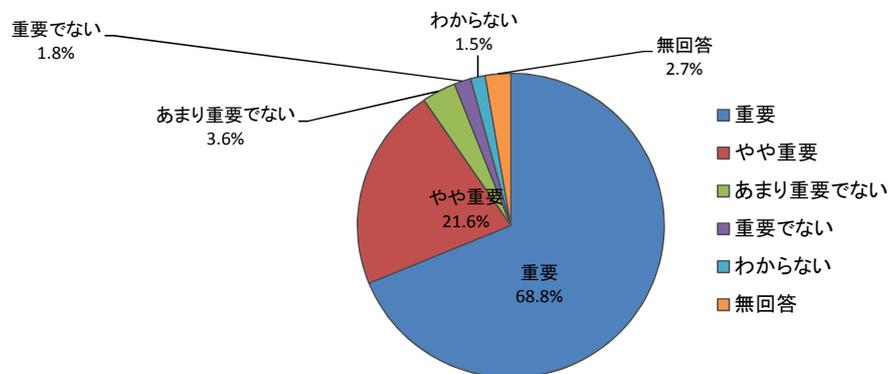


⑥ 防災対策や災害対策の拠点施設としての機能を備えていること

【全体集計結果の解析】

9割以上が重要と回答している。

	集計	%
重要	668	68.8%
やや重要	210	21.6%
あまり重要でない	35	3.6%
重要でない	17	1.8%
わからない	15	1.5%
無回答	26	2.7%
総計	971	100.0%

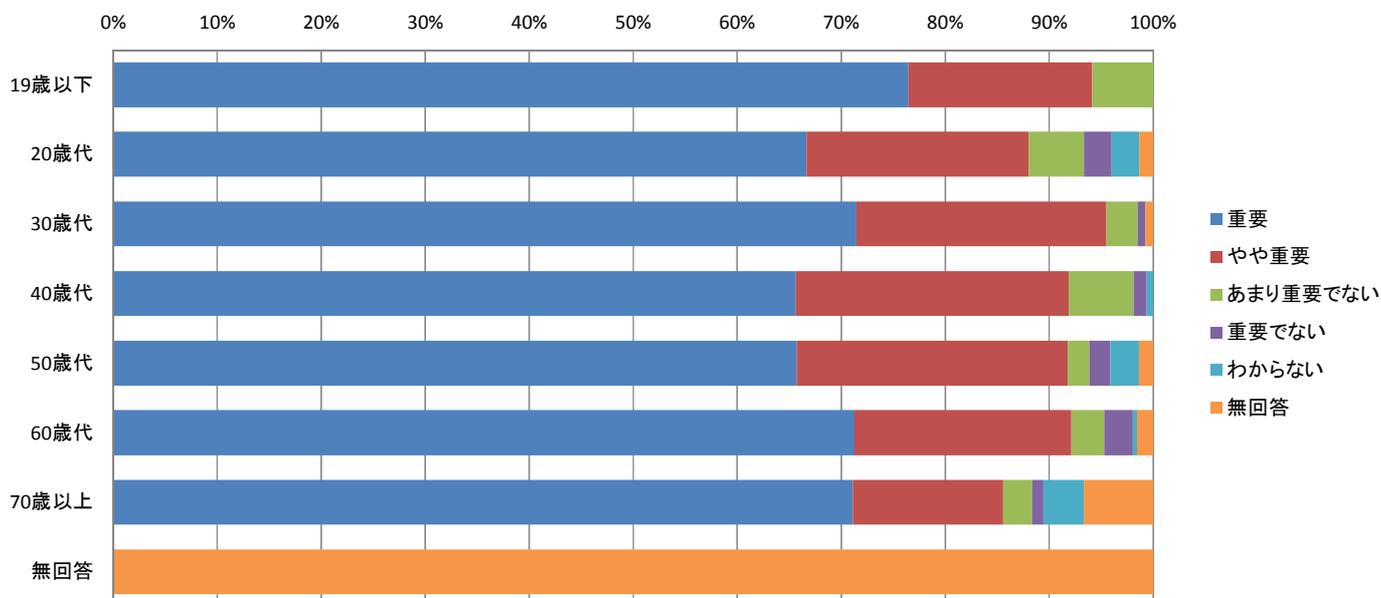


【クロス集計結果の解析】

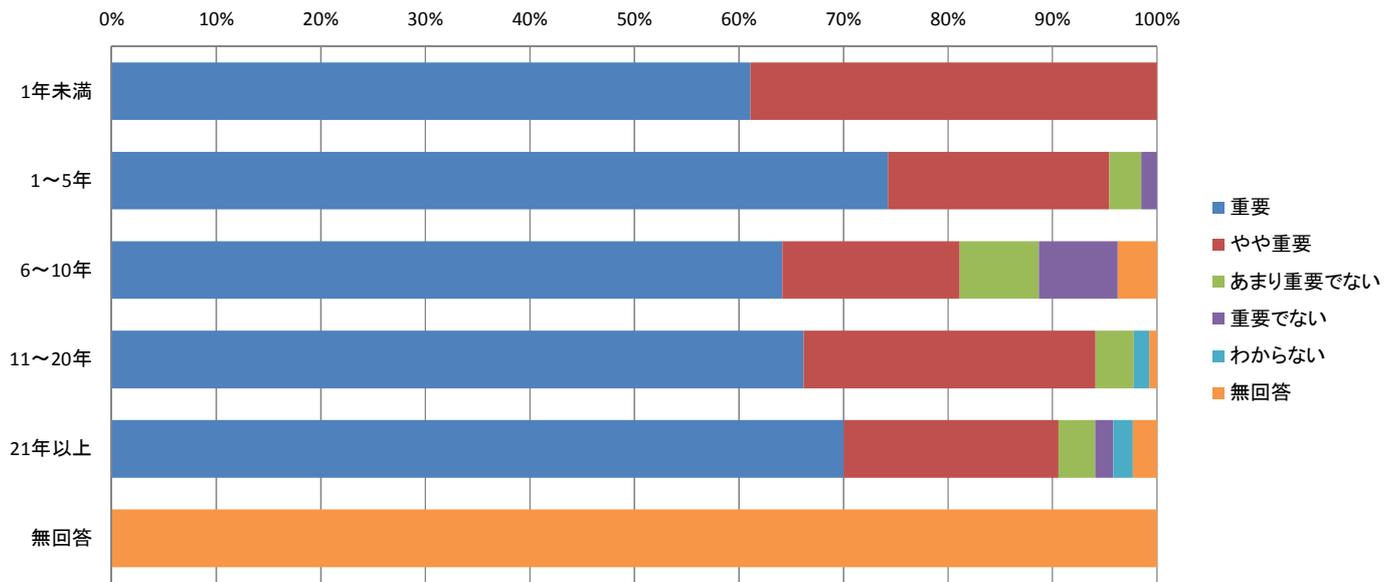
年齢別で見ても、全体集計結果同様9割が重要と回答している。

居住期間別で見ると、ほぼ9割が重要と回答している。6～10年の居住者は重要と回答した人の割合が約8割となっている。

年齢別 ⑥防災対策や災害対策の拠点施設としての機能を備えていること



居住期間別 ⑥防災対策や災害対策の拠点施設としての機能を備えていること

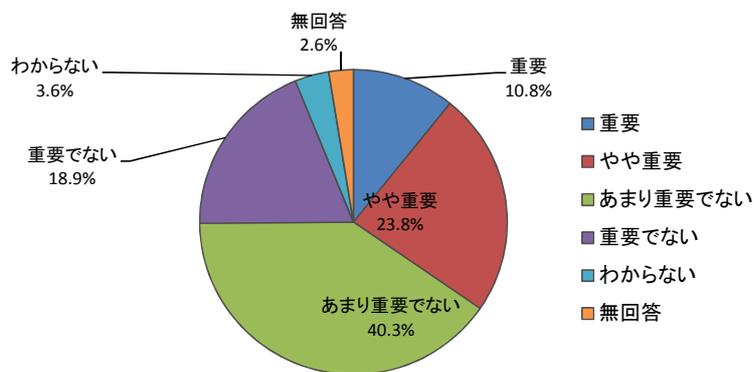


⑦ 市民の憩い・交流のスペースがあること

【全体集計結果の解析】

重要と回答した割合は3割強、重要でないと回答した人の割合は6割弱と半数以上占める。

	集計	%
重要	105	10.8%
やや重要	231	23.8%
あまり重要でない	391	40.3%
重要でない	184	18.9%
わからない	35	3.6%
無回答	25	2.6%
総計	971	100.0%

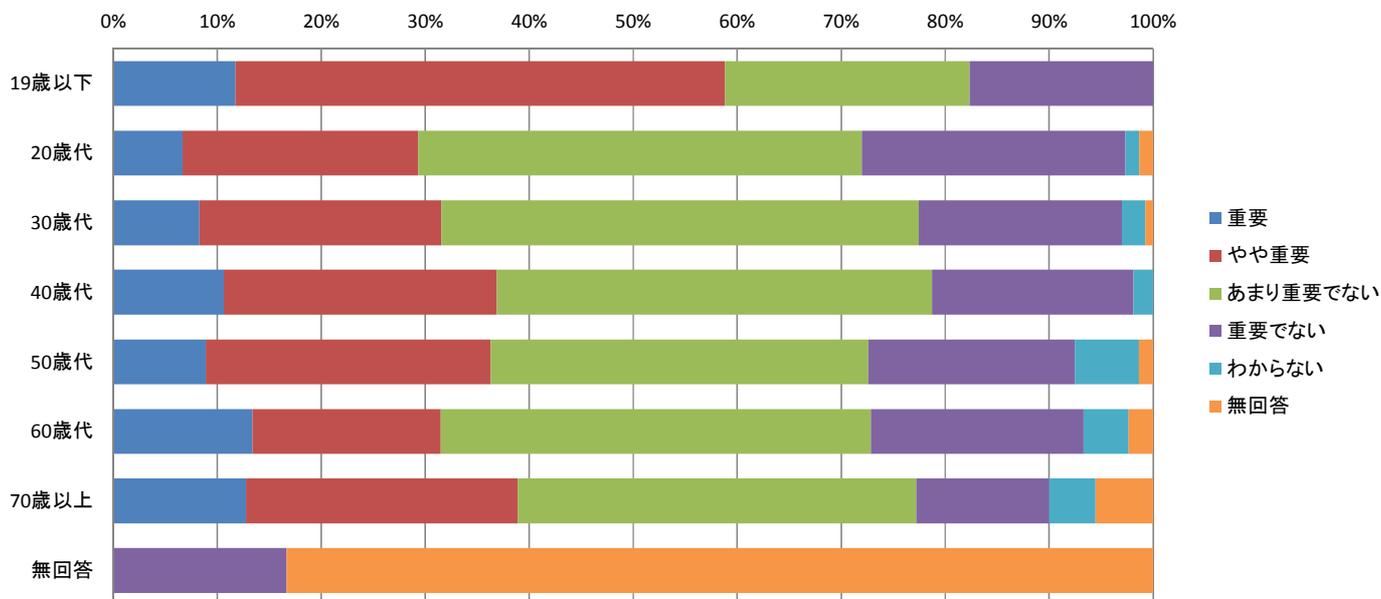


【クロス集計結果の解析】

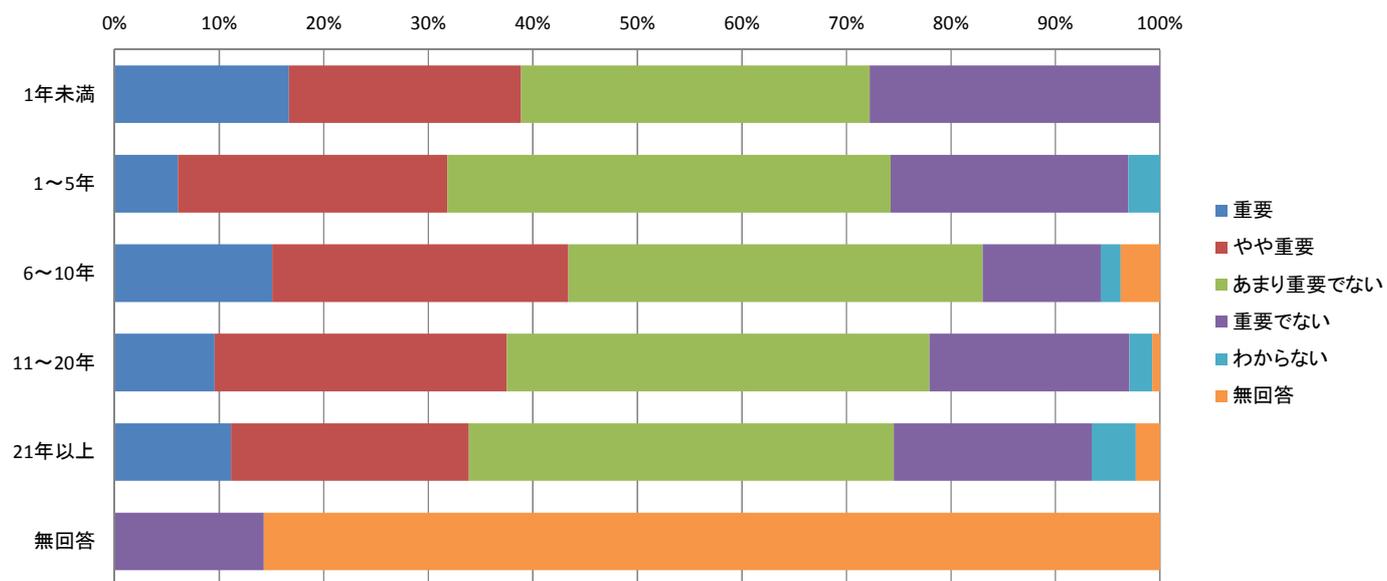
年齢別で見ると、19歳以下の重要と回答した割合が6割弱と半数を占める結果となっている。他の年齢に関しては半数以上が重要でないと回答。

居住期間別で見ると、全体集計とほぼ同様で、半数以上が重要でないと回答している。

年齢別 ⑦市民の憩い・交流のスペースがあること



居住期間別 ⑦市民の憩い・交流のスペースがあること

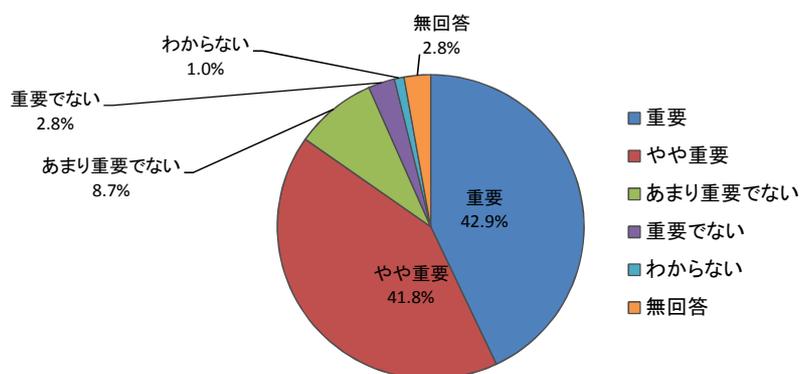


⑧ 駐車場や駐輪場にゆとりがあること

【全体集計結果の解析】

8割以上が重要と回答。

	集計	%
重要	417	42.9%
やや重要	406	41.8%
あまり重要でない	84	8.7%
重要でない	27	2.8%
わからない	10	1.0%
無回答	27	2.8%
総計	971	100.0%



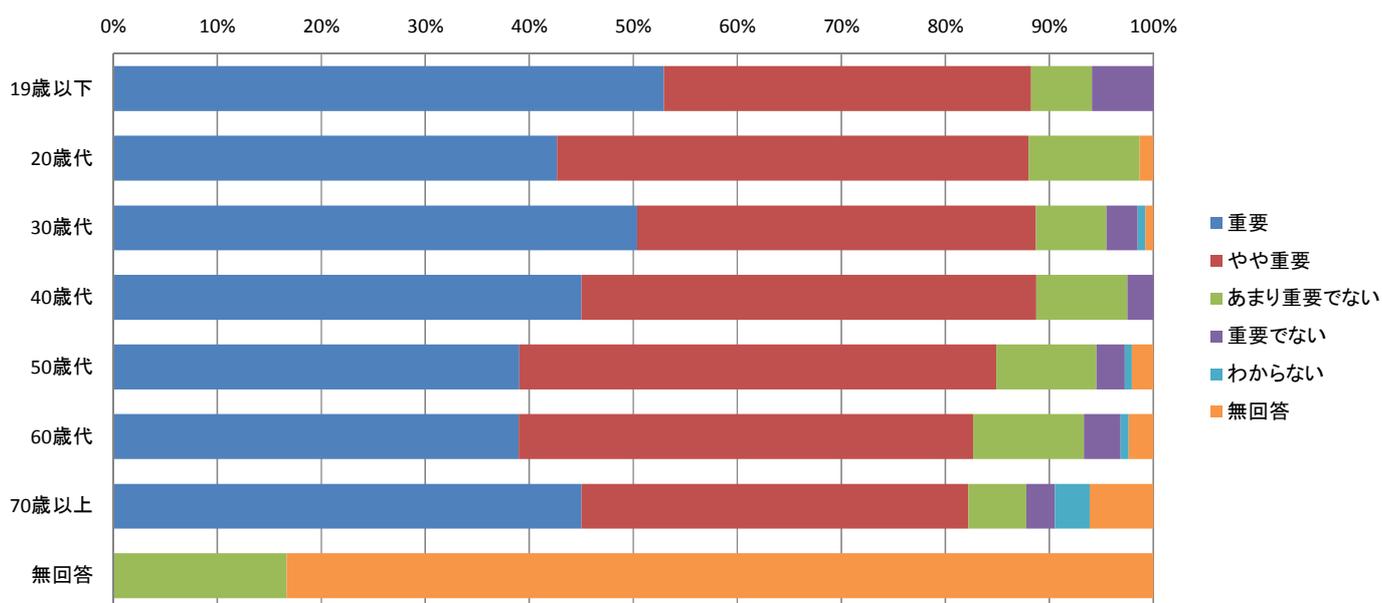
【クロス集計結果の解析】

年齢別で見ても、全体集計結果とほぼ同様、重要と回答した人の割合が8割以上となっている。

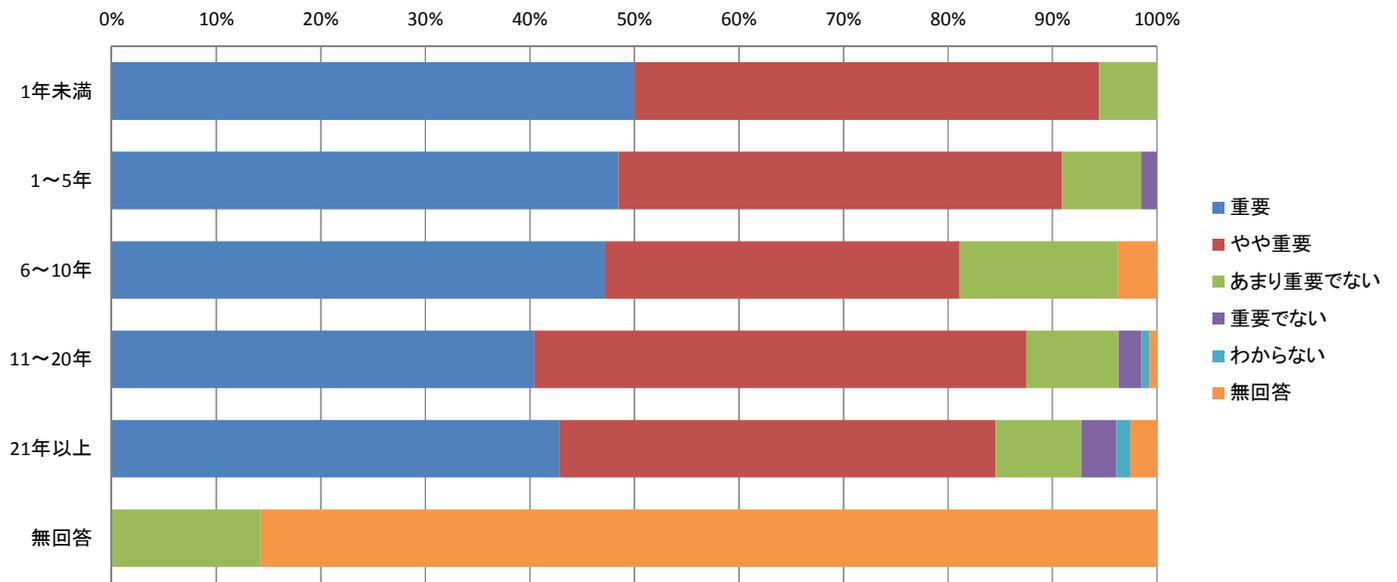
居住期間別で見ると、居住期間が短い人ほど重要と回答する傾向にある。

駐車スペースにゆとりがないことが読み取れる。

年齢別 ⑧駐車場や駐輪場にゆとりがあること



居住期間別 ⑧駐車場や駐輪場にゆとりがあること

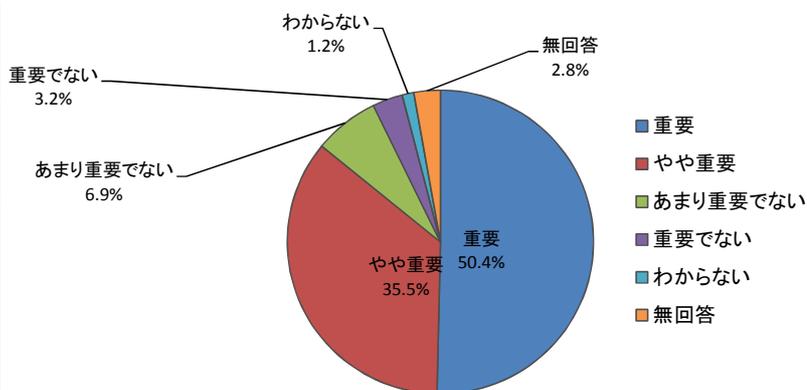


⑨ 公共交通機関が近く、アクセスが良いこと

【全体集計結果の解析】

9割弱の人が重要と回答している。

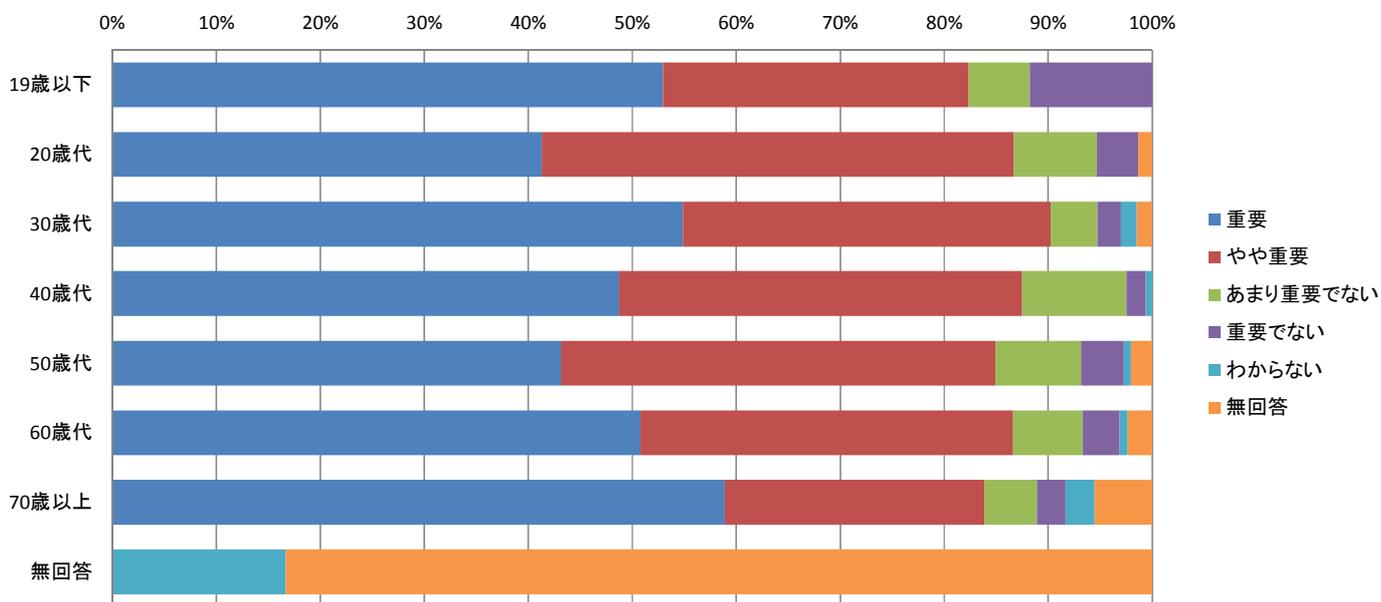
	集計	%
重要	489	50.4%
やや重要	345	35.5%
あまり重要でない	67	6.9%
重要でない	31	3.2%
わからない	12	1.2%
無回答	27	2.8%
総計	971	100.0%



【クロス集計結果の解析】

年齢別・居住期間別で見ても全体集計結果同様、8割以上が重要と回答している。

年齢別 ⑨公共交通機関が近く、アクセスが良いこと



問14. 市役所庁舎に関することや本庁舎の耐震化についてのご意見を自由に回答用紙にご記入ください。

アンケート標本数 971 票のうち、自由回答欄には 376 票 (38.7%) の記入がありました。筆記回答のあった内容のうち、新庁舎建設に関する意見・提案内容を個別に分類し、同様の意見・提案を整理した結果を以下に示します。

回答内容の区分	件数	割合
(1) 庁舎の耐震化について	271	29.3%
建て替えがよい	59	21.8%
耐震補強がよい	41	15.1%
建て替えでも補強でもどちらでもよいから耐震化を	82	30.3%
情報不足で判断し難い・もっと検討すべき	34	12.5%
耐震化は不要	12	4.4%
その他	43	15.9%
(2) 耐震化を行う上で求めること	265	28.6%
コストを削減して行うべき	41	15.5%
耐震補強対策が十分備わっているべき	86	32.5%
早急に行うべき	19	7.2%
庁舎や出先機関の機能を集約して整備すべき	48	18.1%
その他※建て替え場所に関する意見を含む	71	26.8%
(3) 今後の庁舎の機能に関すること	212	22.9%
災害時の防災拠点機能を充実させる	53	25.0%
時間外休日対応や手続き方法など利便性を高く	37	17.5%
古い暗い印象の払拭、明るい印象とすること	29	13.7%
シンボリック的存在であることや外観について	34	16.0%
その他	59	27.8%
(4) その他	178	19.2%
職員の対応や窓口のわかりやすさに関すること	69	38.8%
駐車場に関すること	23	12.9%
税金に関すること	8	4.5%
その他	78	43.8%
延べ件数	926	

